

平成 22 年度

**ユニバーサルデザインに関する
県民意識調査報告書**

平成 22 年 11 月

三 重 県

目次

調査の概要	1
1 調査目的	2
2 調査項目	2
3 調査設計	2
4 回収結果	3
5 報告書の見方	3
調査結果	5
1 あなたご自身のことについて	6
2 ユニバーサルデザインについて	7
3 道・建物などに関するユニバーサルデザインについて	10
4 ユニバーサルデザインの普及・教育について	20
5 製品に関するユニバーサルデザインについて	29
6 サービス・情報に関するユニバーサルデザインについて	35
7 ユニバーサルデザインについての考え方	52
8 自由記述	56
調査票	61

I 調査の概要

1 調査目的

三重県では、「三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進条例」に基づき、すべての県民が社会のあらゆる分野に参加でき、安全かつ快適に暮らすことができる「ユニバーサルデザインのまちづくり」を推進しています。

この調査は、「ユニバーサルデザインのまちづくり」を推進していくうえで、広く県民の意見を聞き、今後の県の取組に反映させることを目的に実施しました。

2 調査項目

ユニバーサルデザインについて
道・建物などに関するユニバーサルデザインについて
ユニバーサルデザインの普及・教育について
製品に関するユニバーサルデザインについて
サービス・情報に関するユニバーサルデザインについて
ユニバーサルデザインについての考え方

3 調査設計

調査地域：県内全域

調査対象者：県内に居住する20歳以上の男女

標本数：3,000人

抽出法：選挙人名簿からの無作為抽出

地域別の人口比をもとに地域毎の抽出数を決定

次に、各地域における市町の人口比をもとに各市町毎の抽出数を決定

各市町において選挙人名簿を使用して等間隔無作為抽出法により対象者を抽出

調査時期：平成22年7月

調査方法：調査票による本人記入方式

郵送配布・郵送回収による郵送調査法、督促状1回配布

調査主体：三重県健康福祉総務室

調査委託機関：株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所

4 回収結果

(1) 回収率

有効回収数：1,566人
有効回収率：52.2%

(2) 地域別回収率

地域名	市町別	配布数	有効回収数	回収率(%)
桑名地域	桑名市、いなべ市、木曾岬町、東員町	355	192	54.1
四日市地域	四日市市、菰野町、朝日町、川越町	599	306	51.1
鈴鹿地域	鈴鹿市、亀山市	400	213	53.3
津地域	津市	462	270	58.4
松阪地域	松阪市、多気町、明和町、大台町	352	170	48.3
伊勢地域	伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、 度会町、大紀町、南伊勢町	415	181	43.6
伊賀地域	伊賀市、名張市	288	154	53.5
尾鷲地域	尾鷲市、紀北町	63	30	47.6
熊野地域	熊野市、御浜町、紀宝町	66	29	43.9
その他	その他(居住地域不明)	-	21	-
合計		3,000	1,566	52.2

5 報告書の見方

集計結果はすべて、小数点以下第2位を四捨五入しており、比率の合計が100%にならないことがある。

複数回答の設問の場合、集計結果の合計が100%を超える場合がある。

グラフのN数は有効標本数(集計対象者総数)を表している。

本文中の質問で、長い文の選択肢については簡略化して表している。

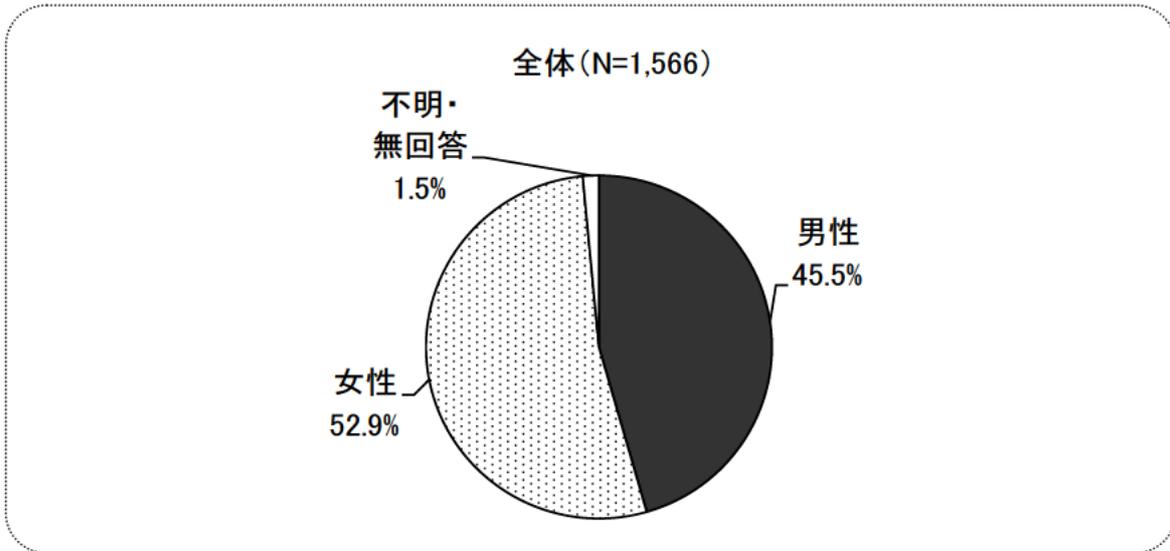
図表中において、「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものである。

Ⅱ 調査結果

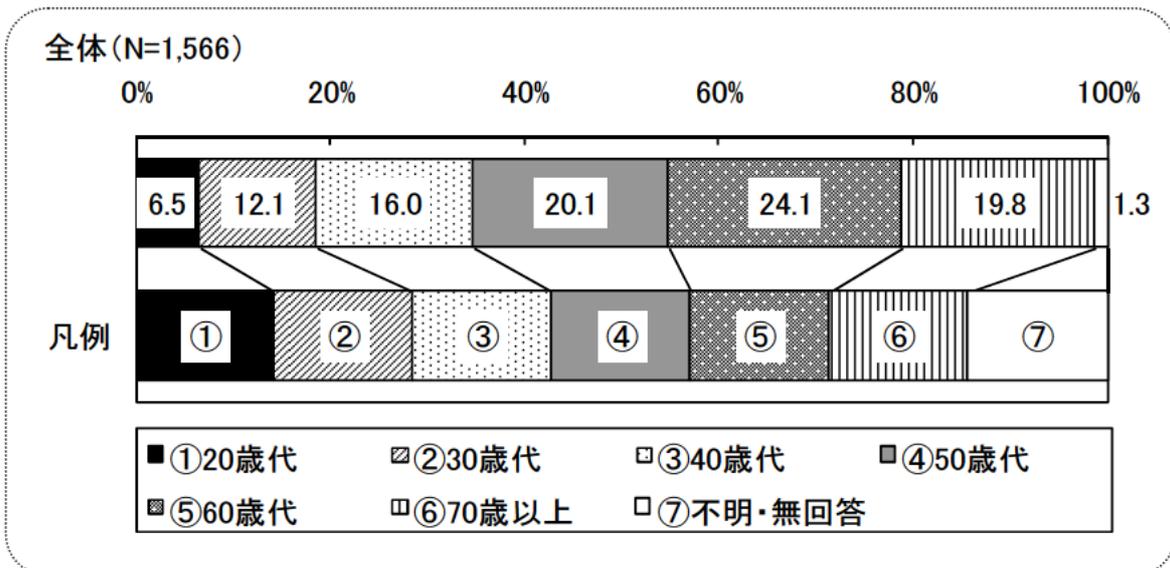
1

あなたご自身のことについて

問1 (ア) あなたの性別を教えてください。(単数回答)



(イ) 現在の、あなたの年齢を教えてください。(単数回答)

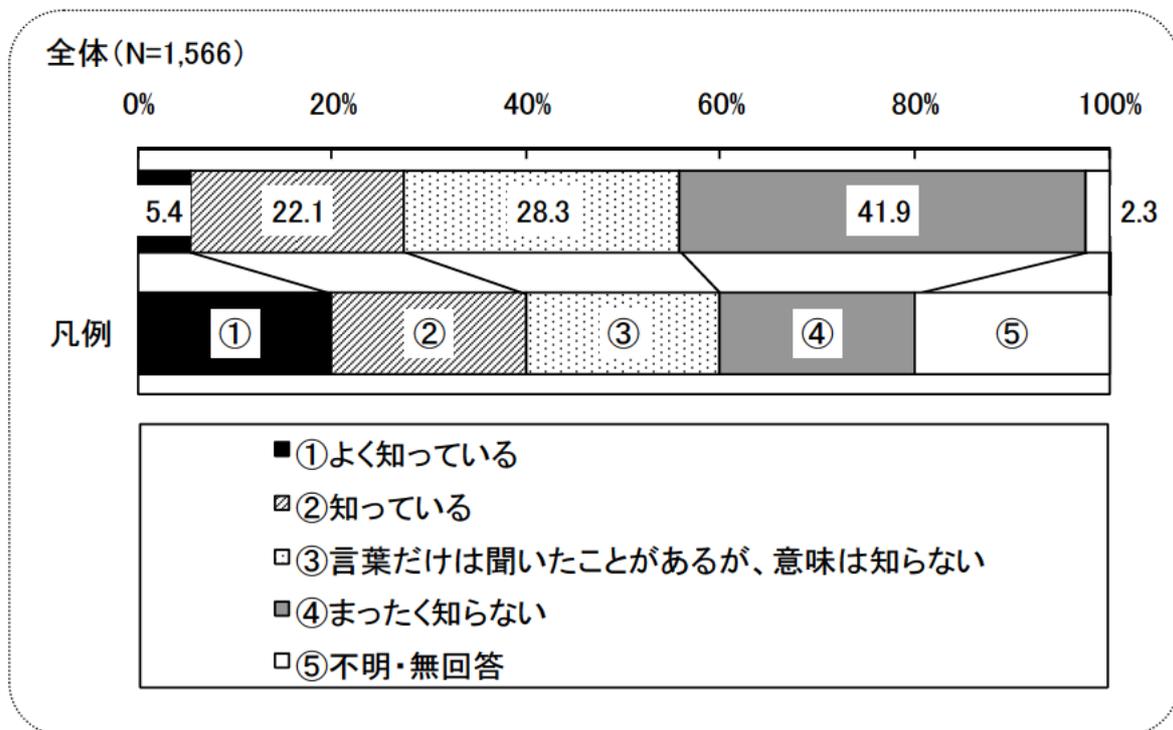


2

ユニバーサルデザインについて

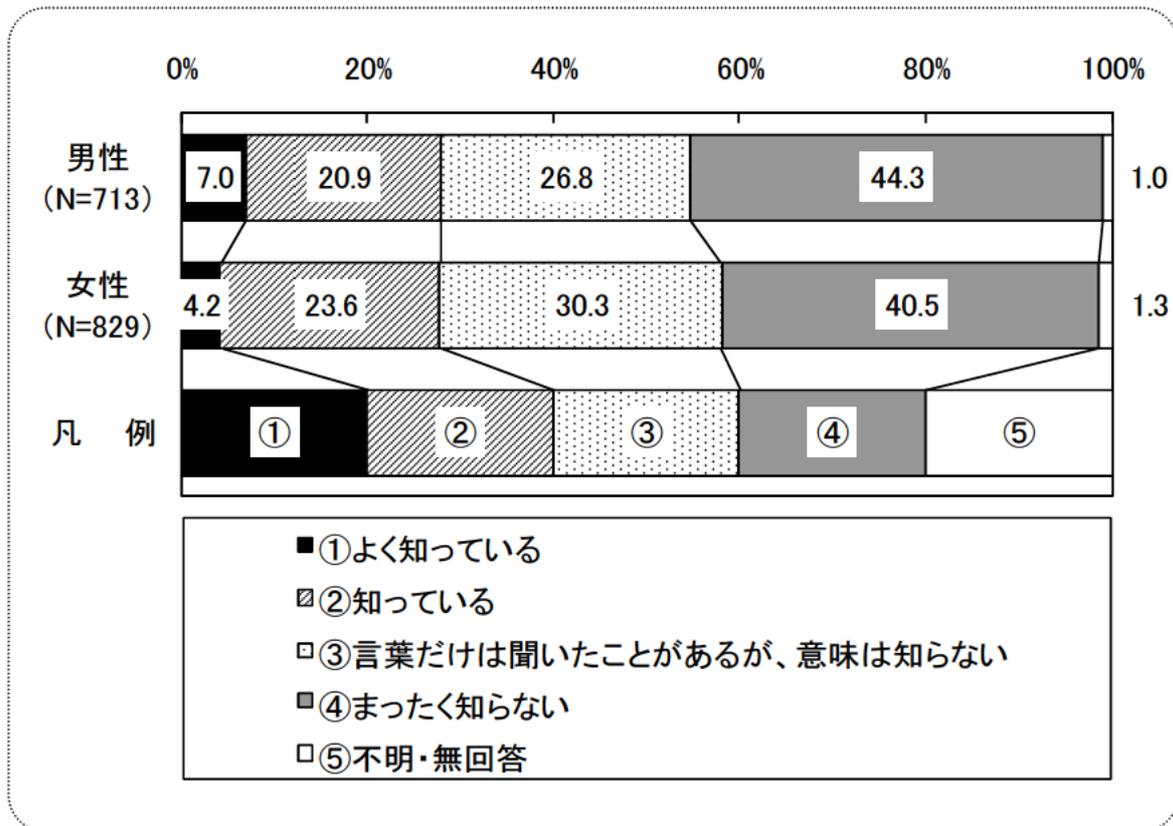
問2 あなたは、ユニバーサルデザインの意味をご存じですか。(単数回答)

この設問についてみると、「④まったく知らない」の割合が最も多く41.9%、次いで「③言葉だけは聞いたことがあるが、意味は知らない」の割合が28.3%となっています。



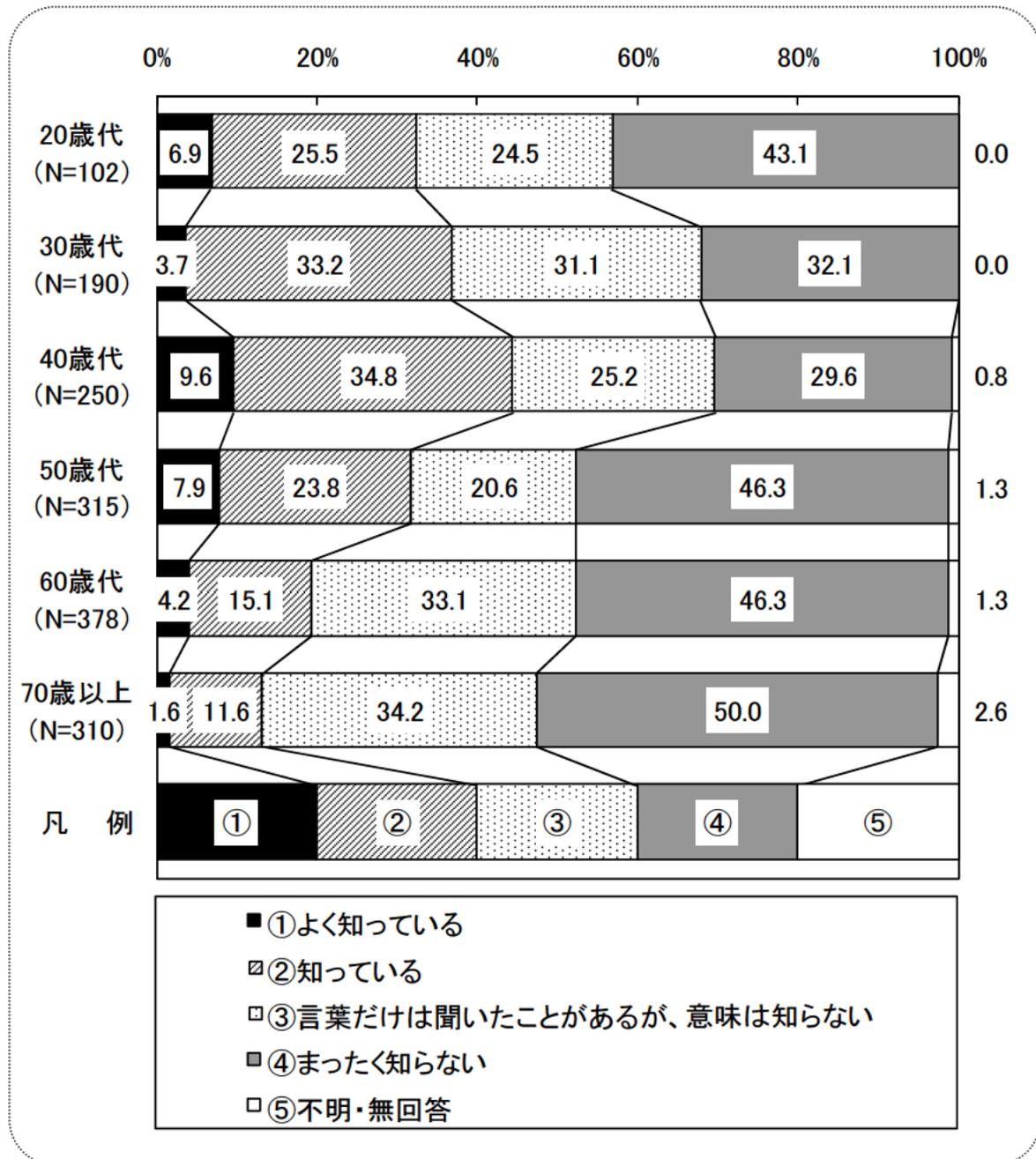
性別

性別についてみると、「①よく知っている」と「②知っている」を合わせた人の割合は、男性では27.9%、女性では27.8%とあまり差がない結果となっています。



年齢別

年齢別についてみると、「①よく知っている」と「②知っている」を合わせた人の割合は、40歳代が44.4%と最も多く、70歳以上が13.2%と最も少なくなっています。

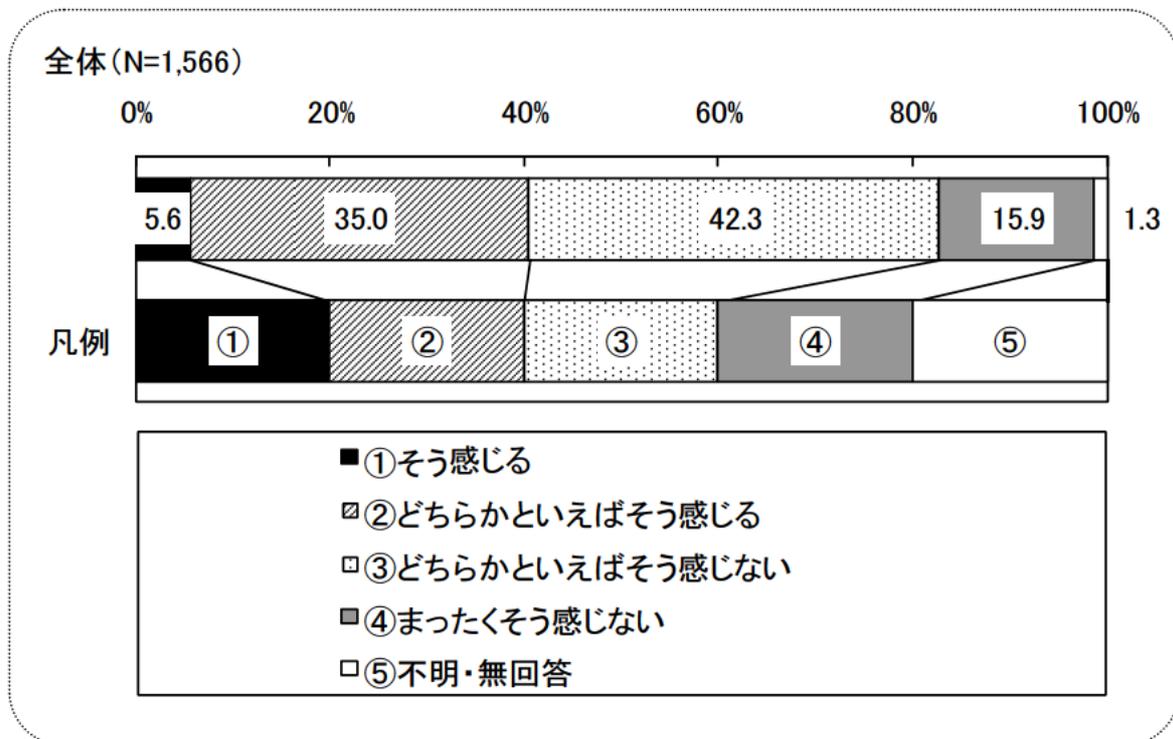


3

道・建物などに関するユニバーサルデザインについて

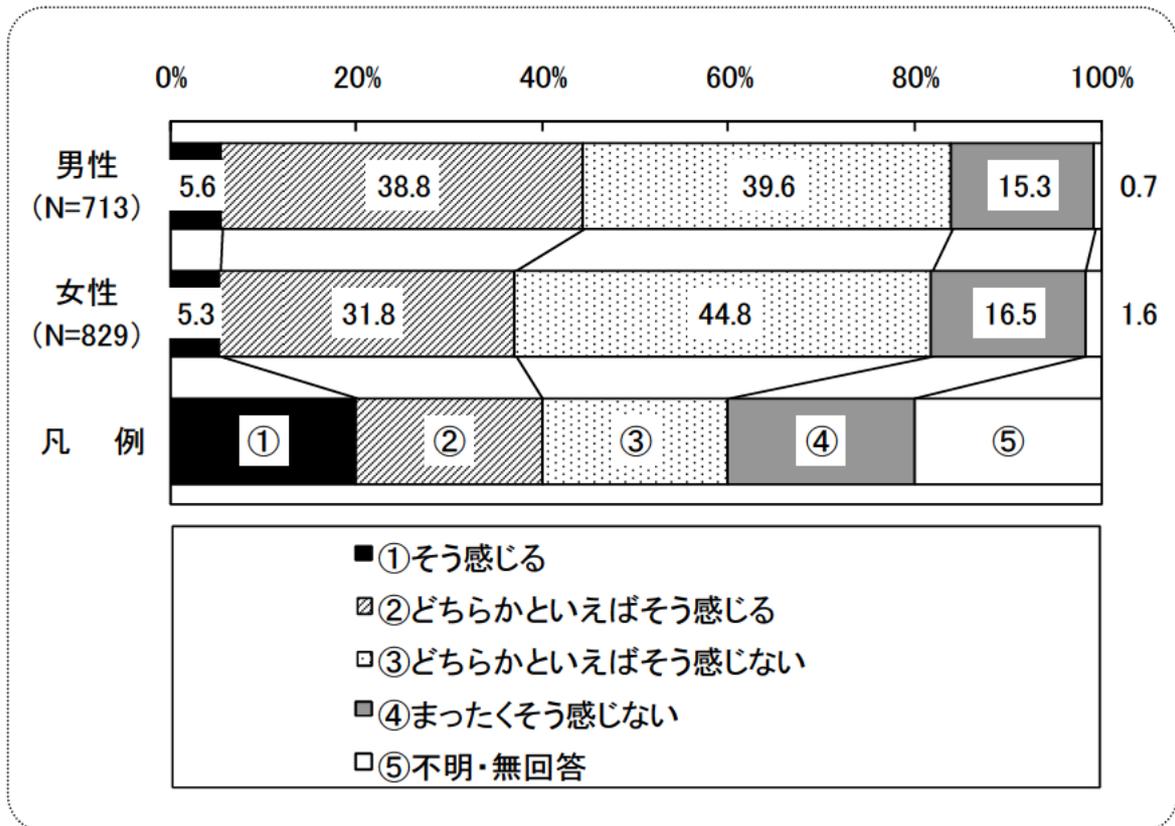
問3 あなたが利用する歩道や駅などは、だれもが自由に移動できるようになってきていると感じますか。(単数回答)

この設問についてみると、「③どちらかといえばそう感じない」の割合が最も多く42.3%、次いで「②どちらかといえばそう感じる」の割合が35.0%となっています。



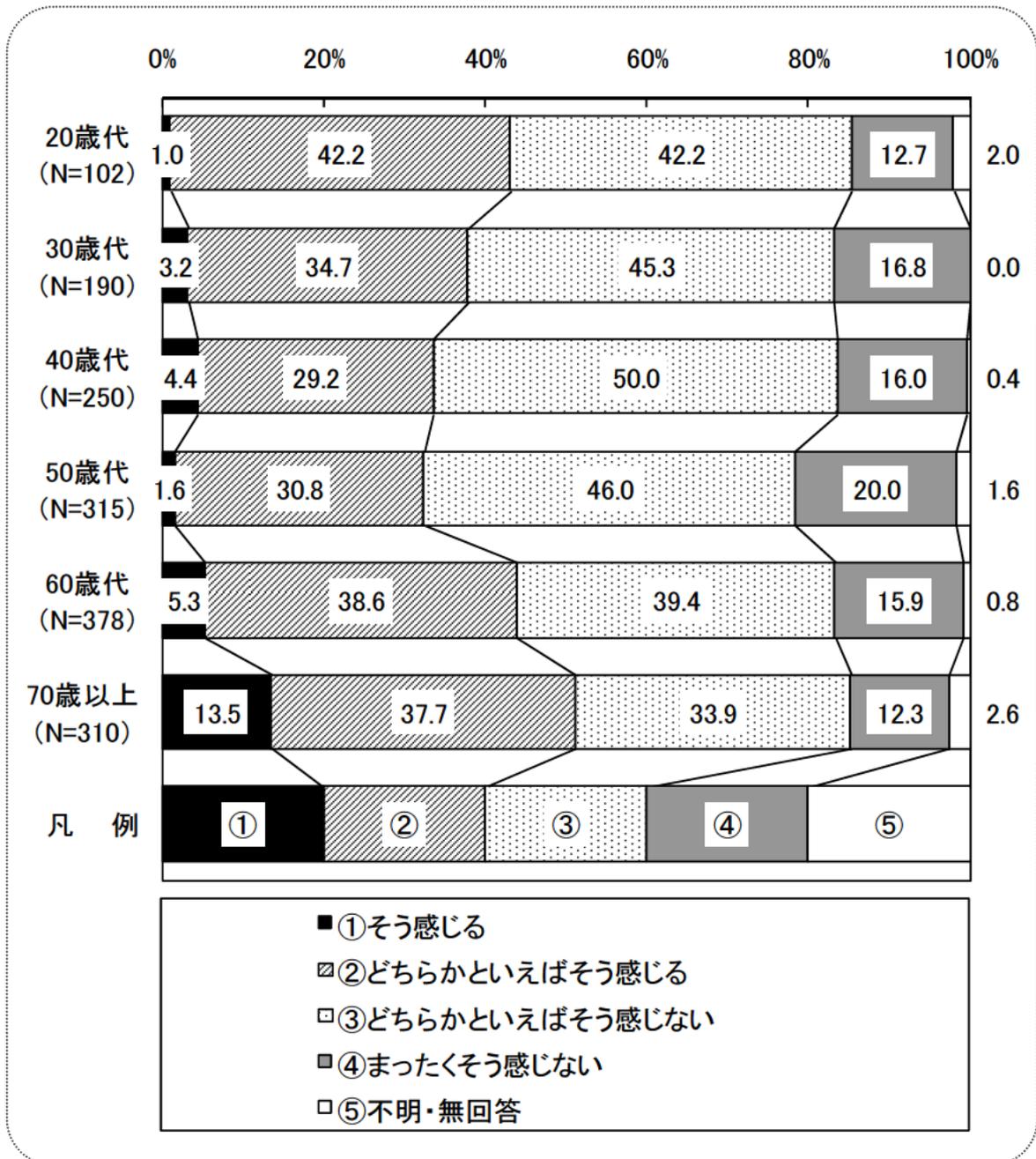
性別

性別についてみると、「①そう感じる」と「②どちらかといえばそう感じる」を合わせた人の割合は、男性が44.4%、女性が37.1%と男性の方が7.3ポイント多くなっています。



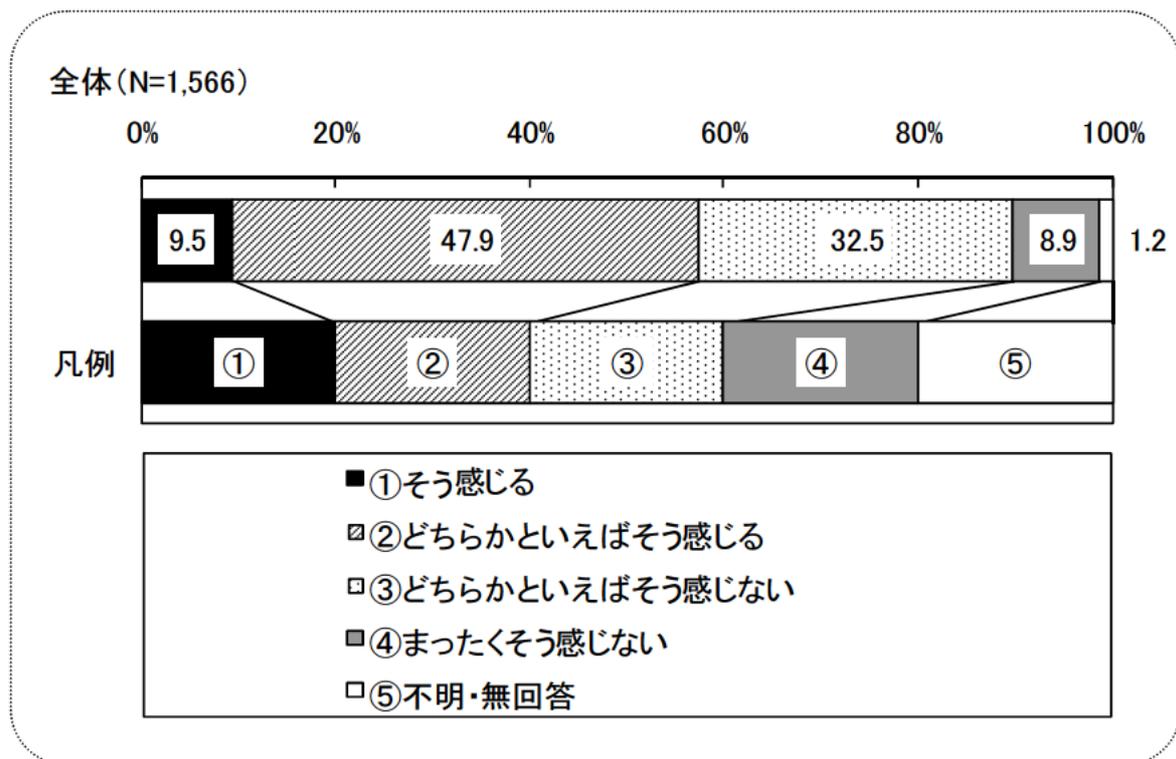
年齢別

年齢別についてみると、「①そう感じる」と「②どちらかといえばそう感じる」を合わせた人の割合は、70歳以上が51.2%と最も多くなっています。一方、40歳代では33.6%、50歳代では32.4%となっています。



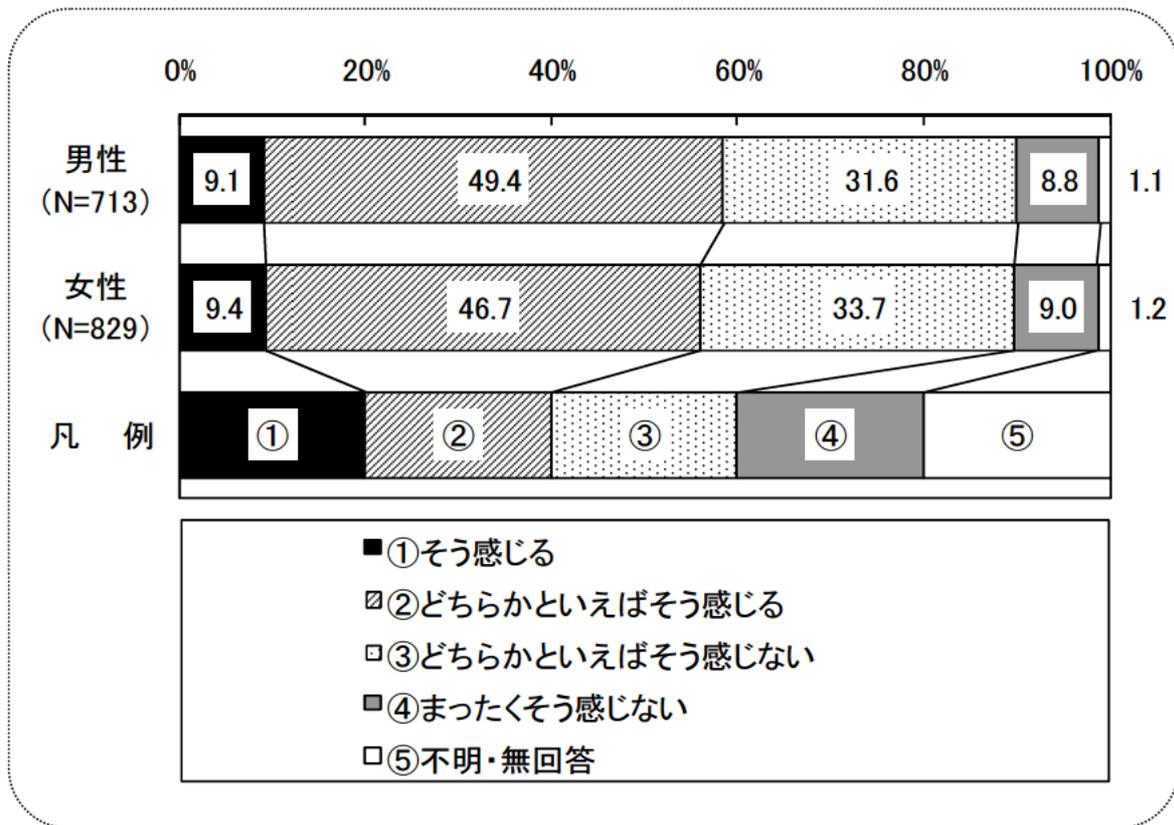
問4 あなたがよく利用する建物（病院、スーパー、公民館など）や公園は、だれもが使いやすくなってきていると感じますか。（単数回答）

この設問についてみると、「②どちらかといえばそう感じる」の割合が最も多く47.9%、次いで「③どちらかといえばそう感じない」の割合が32.5%となっています。



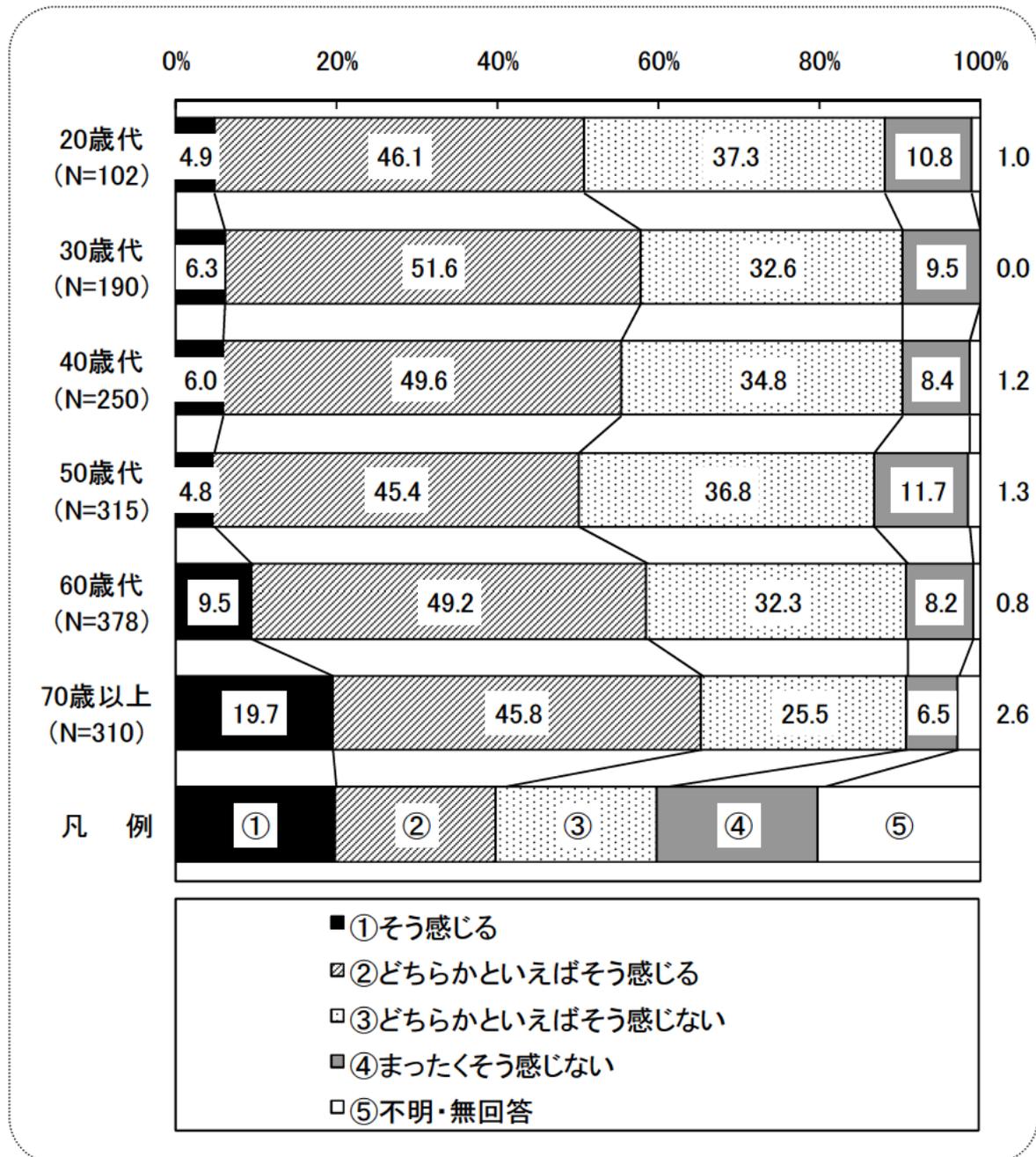
性別

性別についてみると、「①そう感じる」と「②どちらかといえばそう感じる」を合わせた人の割合は、男性 58.5%、女性 56.1%となっています。



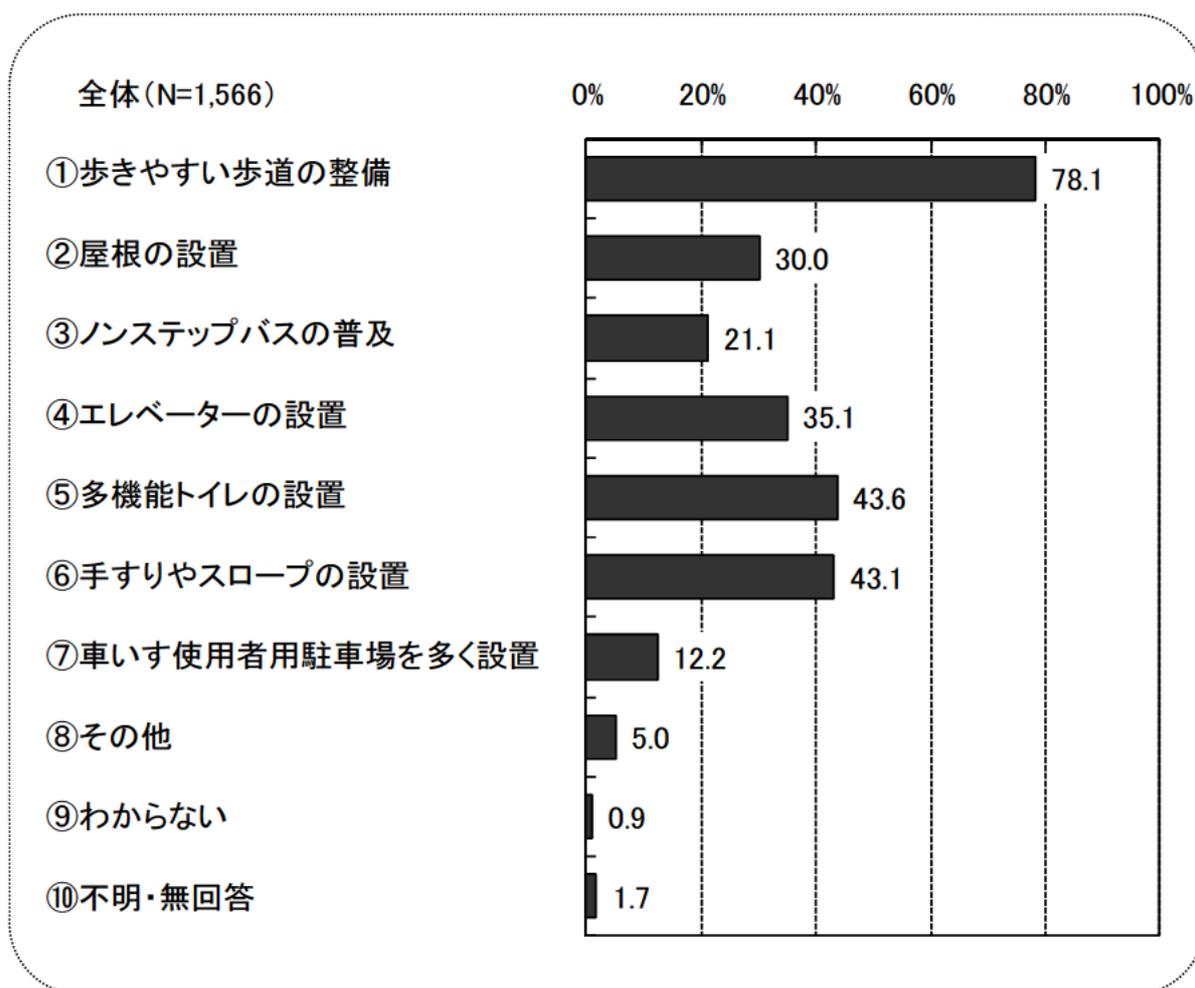
年齢別

年齢別についてみると、「①そう感じる」と「②どちらかといえばそう感じる」を合わせた人の割合は、すべての年代で5割以上となっており、70歳以上が65.5%と最も多くなっています。



問5 だれもが利用しやすい施設の整備を進めるために、あなたが特に大切と思うことは何ですか。(複数回答〈3つまで〉)

この設問についてみると、「①幅が広く、段差や凸凹（デコボコ）がない歩道を整備する」の割合が最も多く78.1%、次いで「⑤駅や、だれもが利用する建物などに、多機能トイレを設置する」の割合が43.6%となっています。



- ①歩きやすい歩道の整備:幅が広く、段差や凸凹(デコボコ)がない歩道を整備する
- ②屋根の設置:バスの停留所や建物の出入口付近、通路に屋根を設ける
- ③ノンステップバスの普及:ノンステップバスを普及させる
- ④エレベーターの設置:駅や、だれもが利用する建物などに、エレベーターを設置する
- ⑤多機能トイレの設置:駅や、だれもが利用する建物などに、多機能トイレを設置する
- ⑥手すりやスロープの設置:ちょっとした段にも、手すりやスロープをつける
- ⑦車いす利用者用駐車場を多く設置:車いす利用者用駐車区画を多く設ける

性別

性別でも、男女ともに「幅が広く、段差や凸凹（デコボコ）がない歩道を整備する」の割合が最も多く、男性は78.5%、女性は78.9%となっています。

上段:件数 下段:%	歩きやすい 歩道の整備	屋根の設置	ノンステッ プバスの普及	エレベ ーターの設置	多機能トイ レの設置
男性 (N=713)	560 78.5	212 29.7	142 19.9	241 33.8	328 46.0
女性 (N=829)	654 78.9	252 30.4	186 22.4	306 36.9	357 43.1

上段:件数 下段:%	手すりやス ロープの設置	車いす使用 者用駐車場を 多く設置	その他	わからない	不明・無回 答
男性 (N=713)	291 40.8	104 14.6	33 4.6	7 1.0	7 1.0
女性 (N=829)	378 45.6	85 10.3	50 6.0	7 0.8	9 1.1

年 齢 別

年齢別でも、すべての年齢で「幅が広く、段差や凸凹（デコボコ）がない歩道を整備する」の割合が最も多くなっています。次いで多い割合として、20～40歳代及び60歳代では「駅や、だれもが利用する建物などに、多機能トイレを設置する」、また、50歳代と70歳以上では「ちょっとした段にも、手すりやスロープをつける」となっています。

上段:件数 下段:%	歩きやすい 歩道の整備	屋根の設置	ノンステッ プバスの普及	エレベーターの設置	多機能トイレの設置
20歳代 (N=102)	73 71.6	34 33.3	18 17.6	39 38.2	49 48.0
30歳代 (N=190)	158 83.2	77 40.5	35 18.4	69 36.3	93 48.9
40歳代 (N=250)	215 86.0	71 28.4	41 16.4	95 38.0	115 46.0
50歳代 (N=315)	259 82.2	85 27.0	62 19.7	121 38.4	131 41.6
60歳代 (N=378)	282 74.6	105 27.8	85 22.5	115 30.4	178 47.1
70歳以上 (N=310)	219 70.6	91 29.4	84 27.1	103 33.2	112 36.1

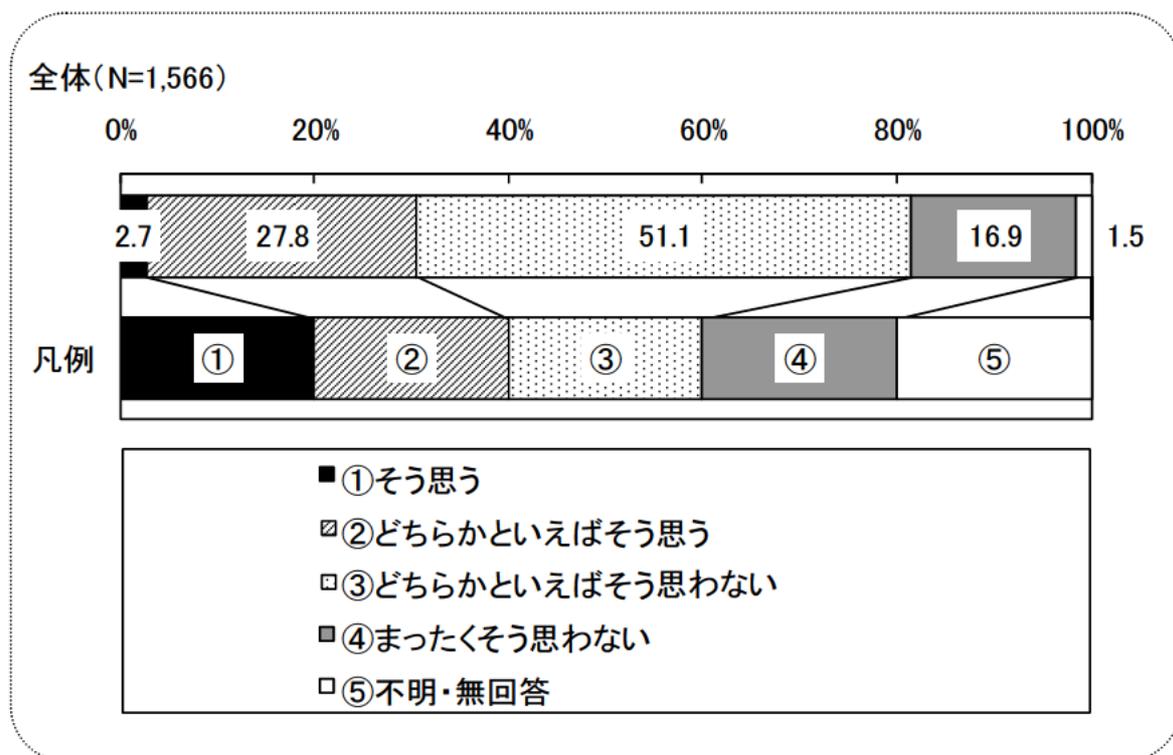
上段:件数 下段:%	手すりやス ロープの設置	車いす使用 者用駐車場を 多く設置	その他	わからない	不明・無回 答
20歳代 (N=102)	39 38.2	9 8.8	4 3.9	1 1.0	4 3.9
30歳代 (N=190)	68 35.8	8 4.2	17 8.9	- -	2 1.1
40歳代 (N=250)	100 40.0	22 8.8	19 7.6	2 0.8	1 0.4
50歳代 (N=315)	136 43.2	46 14.6	13 4.1	3 1.0	7 2.2
60歳代 (N=378)	173 45.8	58 15.3	17 4.5	4 1.1	3 0.8
70歳以上 (N=310)	152 49.0	43 13.9	8 2.6	4 1.3	9 2.9

4

ユニバーサルデザインの普及・教育について

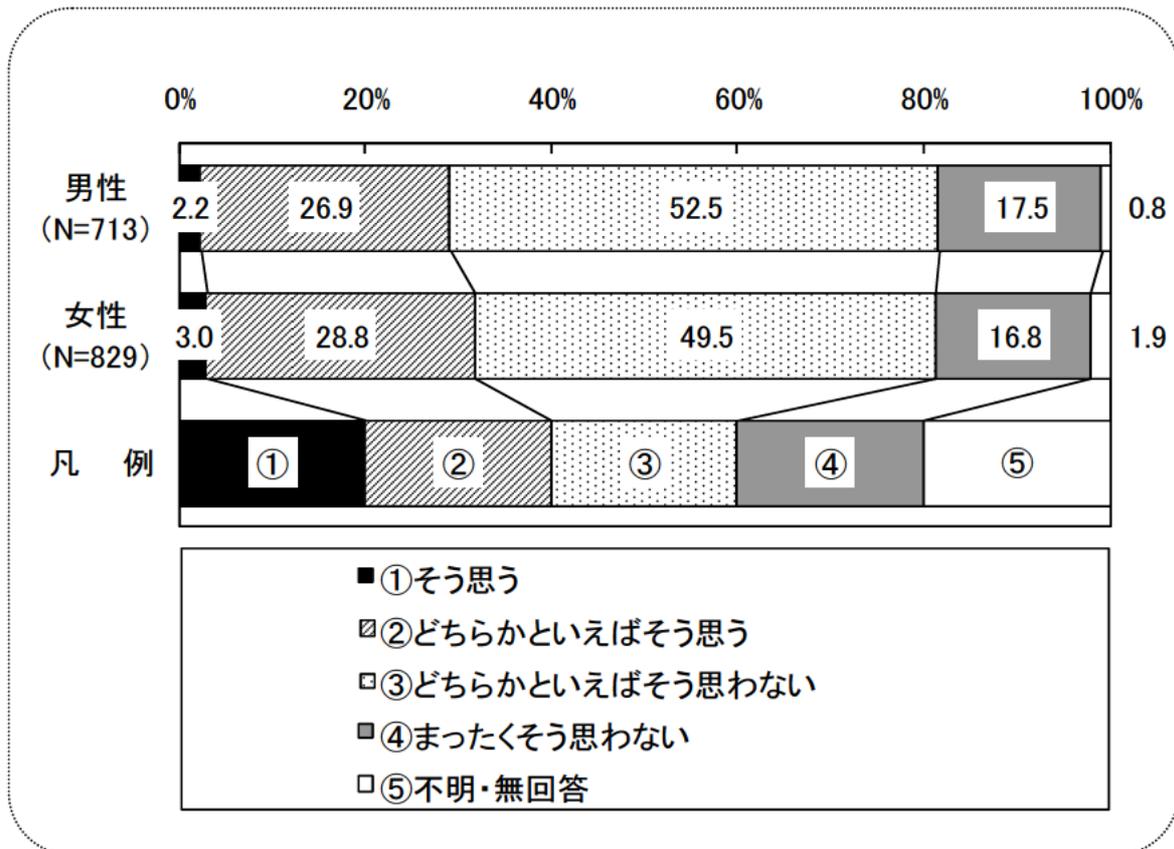
問6 日常の生活のなかで（家庭、地域、職場など）、ユニバーサルデザインの考え方が浸透していると思いますか。（単数回答）

この設問についてみると、「③どちらかといえばそう思わない」の割合が最も多く51.1%、次いで「②どちらかといえばそう思う」の割合が27.8%となっています。



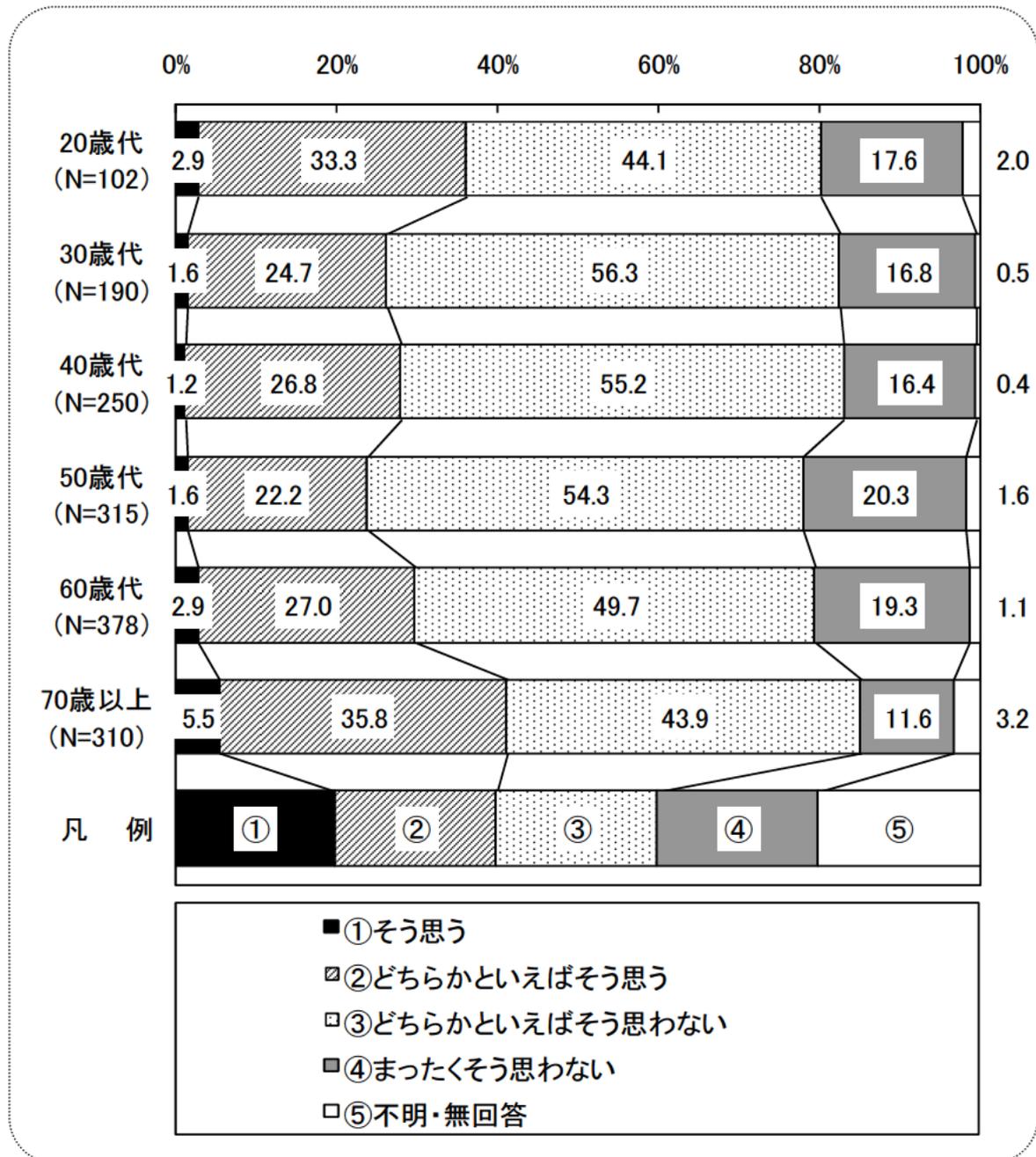
性別

性別についてみると、「①そう思う」と「②どちらかといえばそう思う」を合わせた人の割合は、男性では29.1%、女性では31.8%となっています。



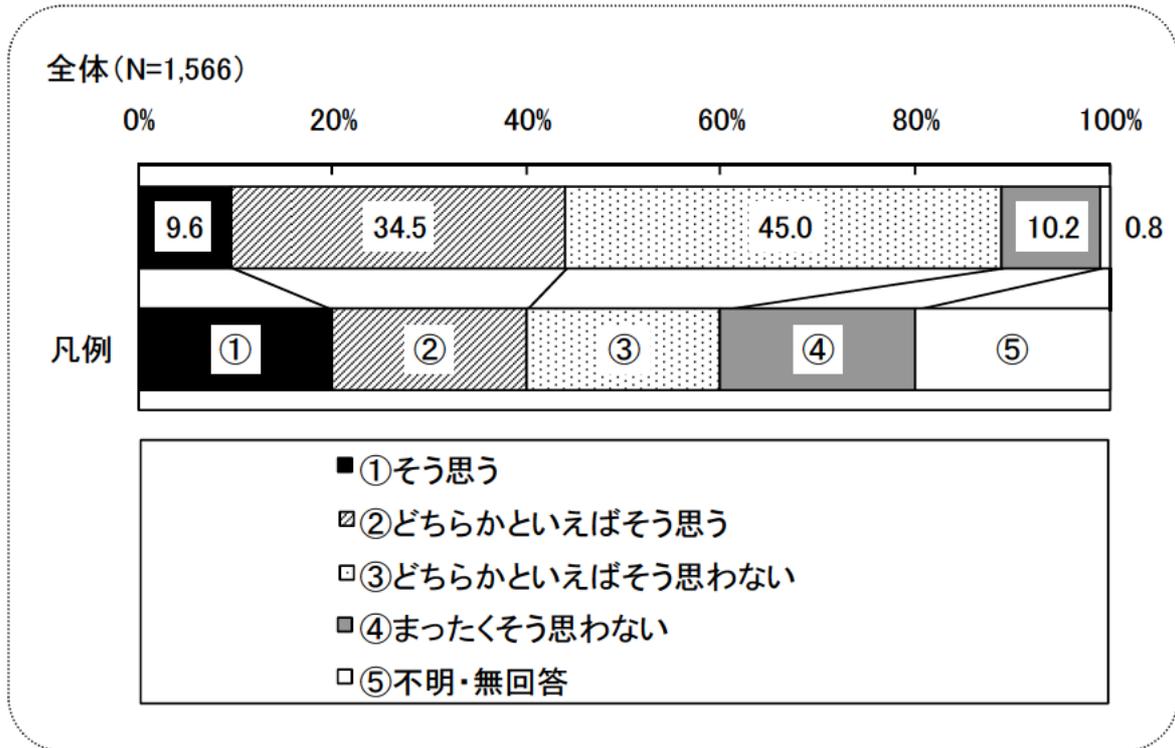
年齢別

年齢別についてみると、「①そう思う」と「②どちらかといえばそう思う」を合わせた人の割合は、70歳以上が41.3%と最も多くなっています。一方、50歳代は23.8%と最も少なくなっています。



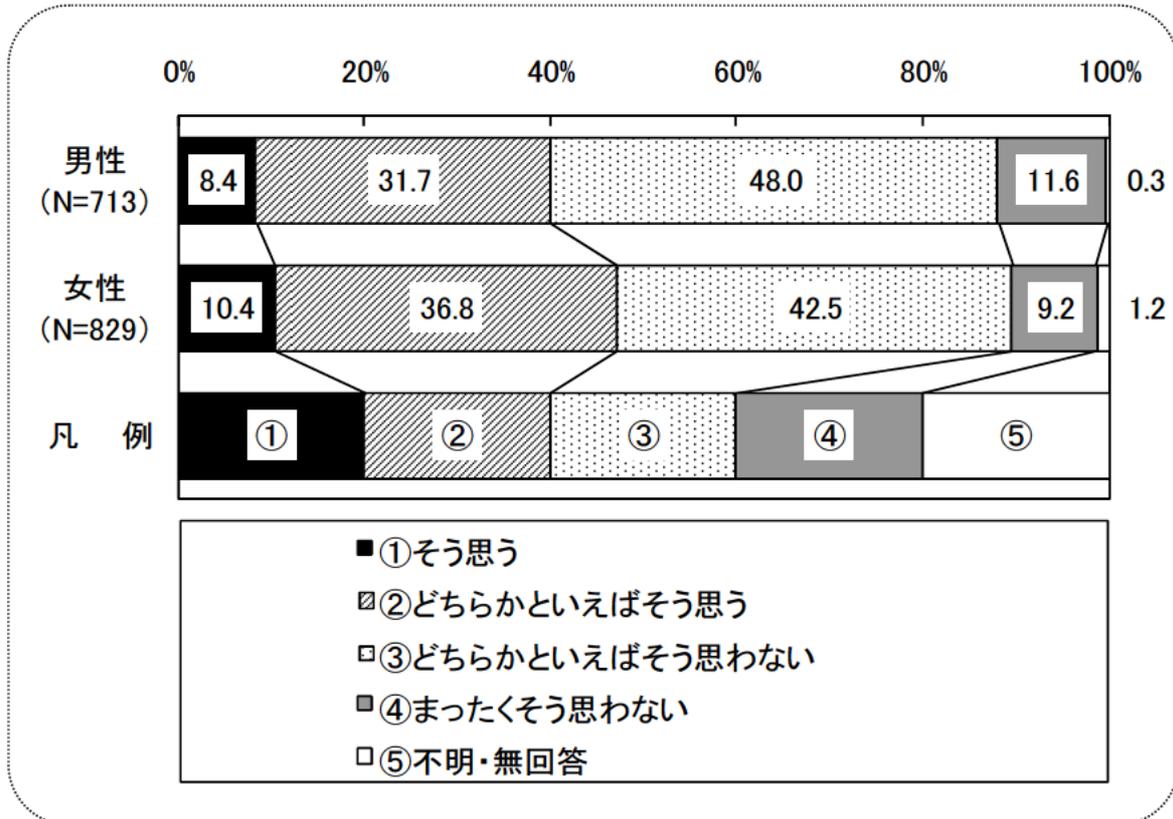
問7 あなたは、子どもたちに、すべての人に対してやさしくする気持ちが育っていると思いますか。(単数回答)

この設問についてみると、「③どちらかといえばそう思わない」の割合が最も多く45.0%、次いで「②どちらかといえばそう思う」の割合が34.5%となっています。



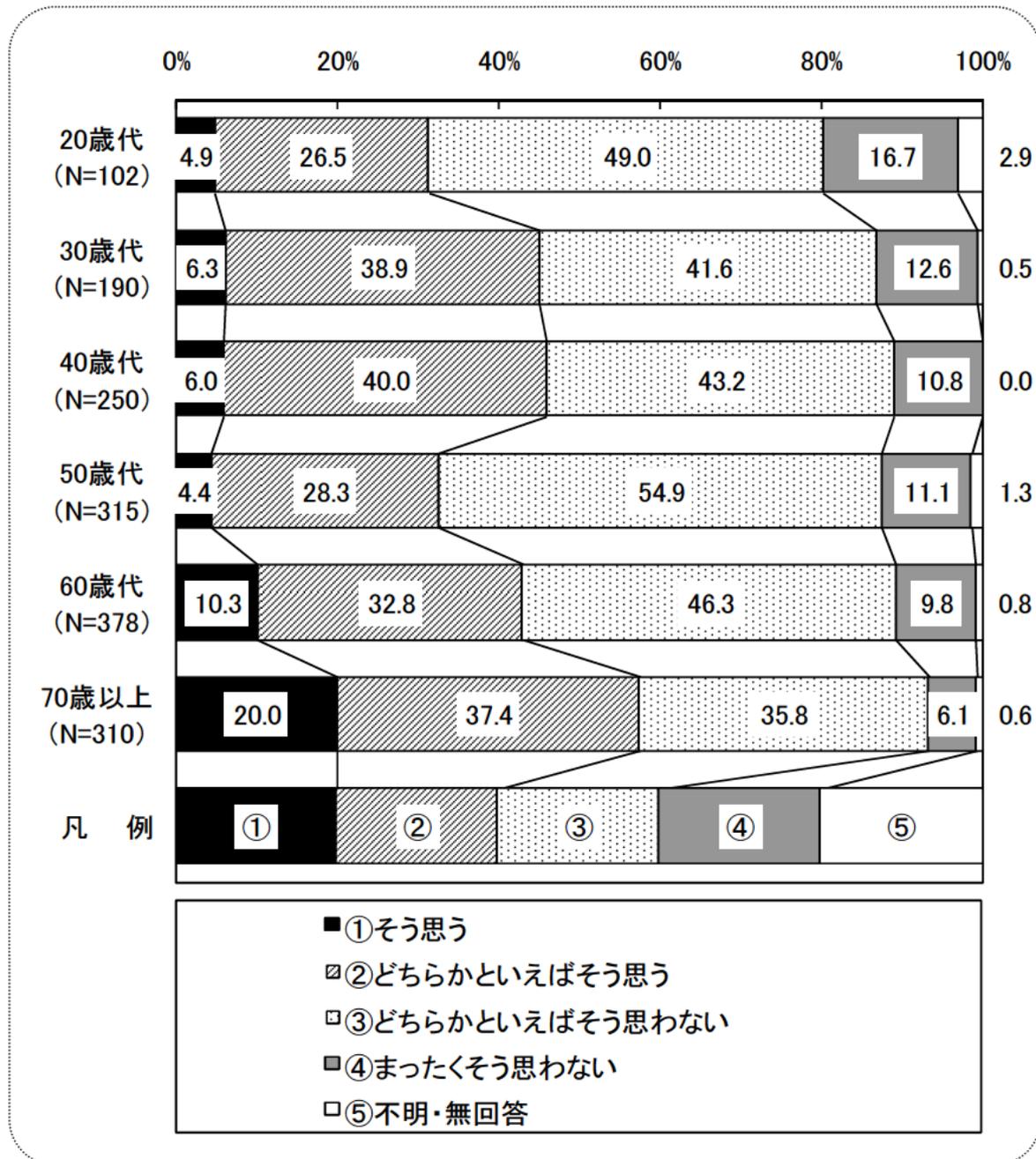
性別

性別についてみると、「①そう思う」と「②どちらかといえばそう思う」を合わせた人の割合は、男性では40.1%、女性では47.2%と7.1ポイント女性が多くなっています。



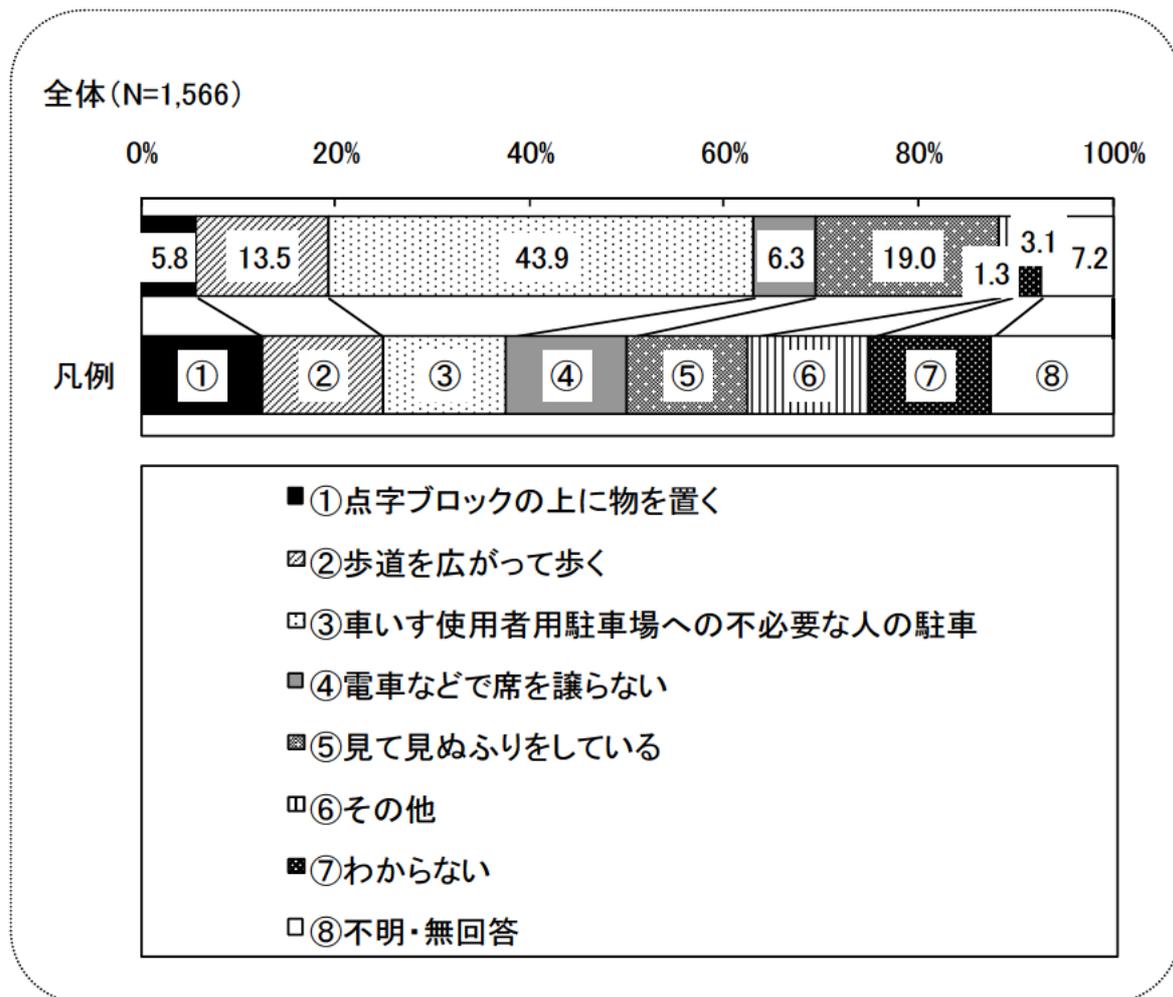
年齢別

年齢別についてみると、「①そう思う」と「②どちらかといえばそう思う」を合わせた人の割合は、70歳以上が57.4%と最も多くなっています。一方、20歳代が31.4%と最も少なくなっています。



問8 「まち」で見かける「ひと」の行動で、特に問題があると思うことは何ですか。(単数回答)

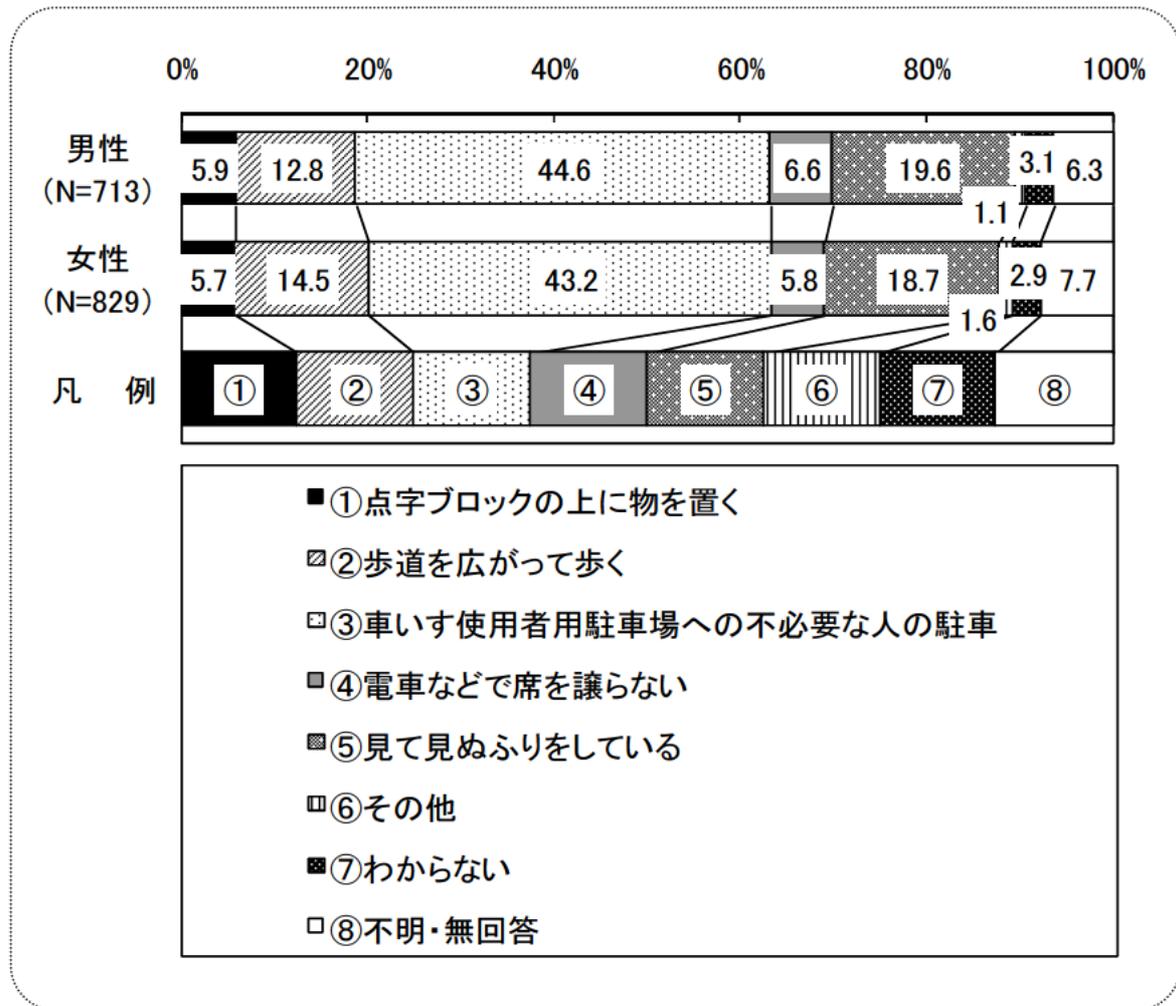
この設問についてみると、「③ショッピングセンターなどの車いす使用者用駐車区画に駐車する必要がないと思われる人が駐車している」の割合が最も多く 43.9%、次いで「⑤困っている人を見かけても、見て見ぬふりをしている」の割合が 19.0% となっています。



- ①点字ブロックの上に物を置く: 点字ブロックの上に自転車や看板などを置いている
- ②歩道を広がって歩く: 歩道を道幅いっぱい広がって歩く
- ③車いす使用者用駐車場への不必要な人の駐車: ショッピングセンターなどの車いす使用者用駐車区画に駐車する必要がないと思われる人が駐車している
- ④電車などで席を譲らない: 電車やバスで、高齢者などに席を譲らない
- ⑤見て見ぬふりをしている: 困っている人を見かけても、見て見ぬふりをしている

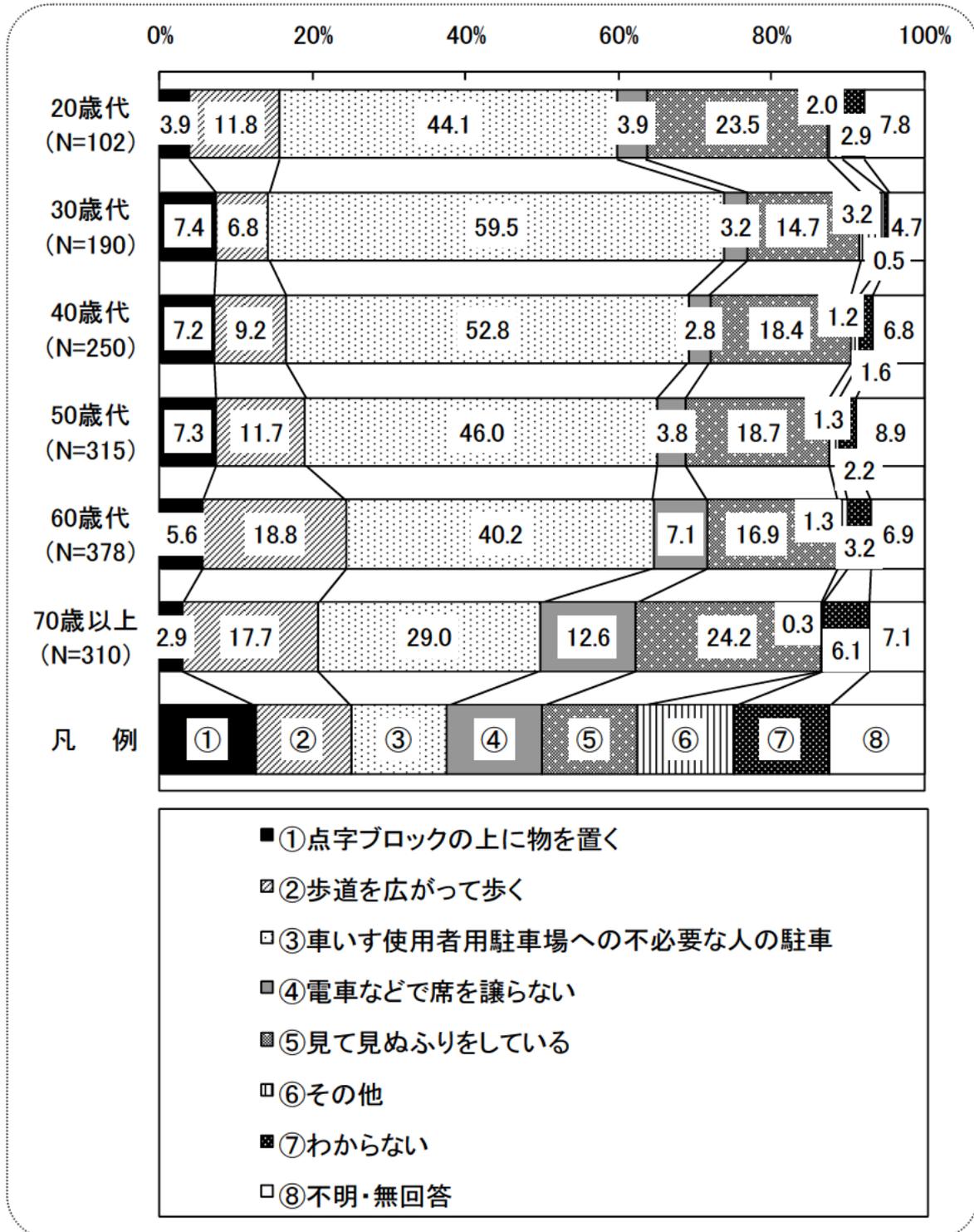
性別

性別でも、男女ともに「③ショッピングセンターなどの車いす使用者用駐車区画に駐車する必要がないと思われる人が駐車している」の割合が最も多くなっています。



年齢別

年齢別でも、すべての年齢で「③ショッピングセンターなどの車いす使用者用駐車区画に駐車する必要があると思われる人が駐車している」の割合が最も多くなっており、特に30歳代で多くなっています。また、70歳以上では「④電車やバスで、高齢者などに席を譲らない」の割合が12.6%と、他の年代と比べ、やや多くなっています。

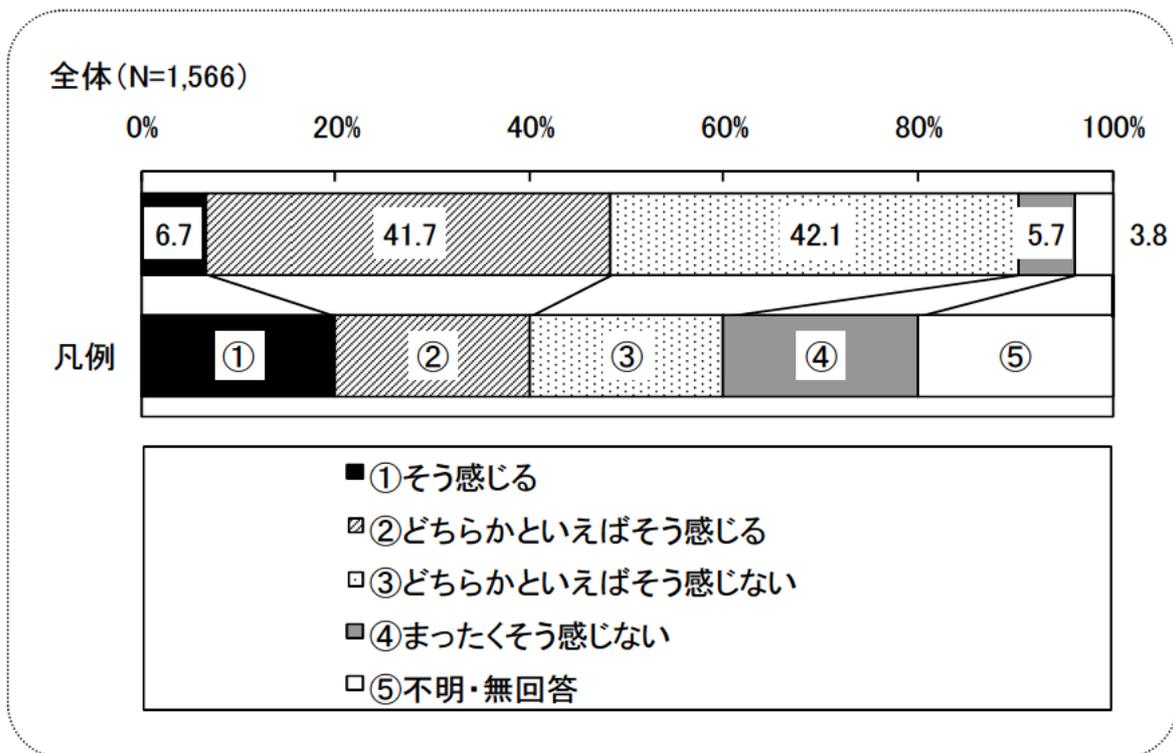


5

製品に関するユニバーサルデザインについて

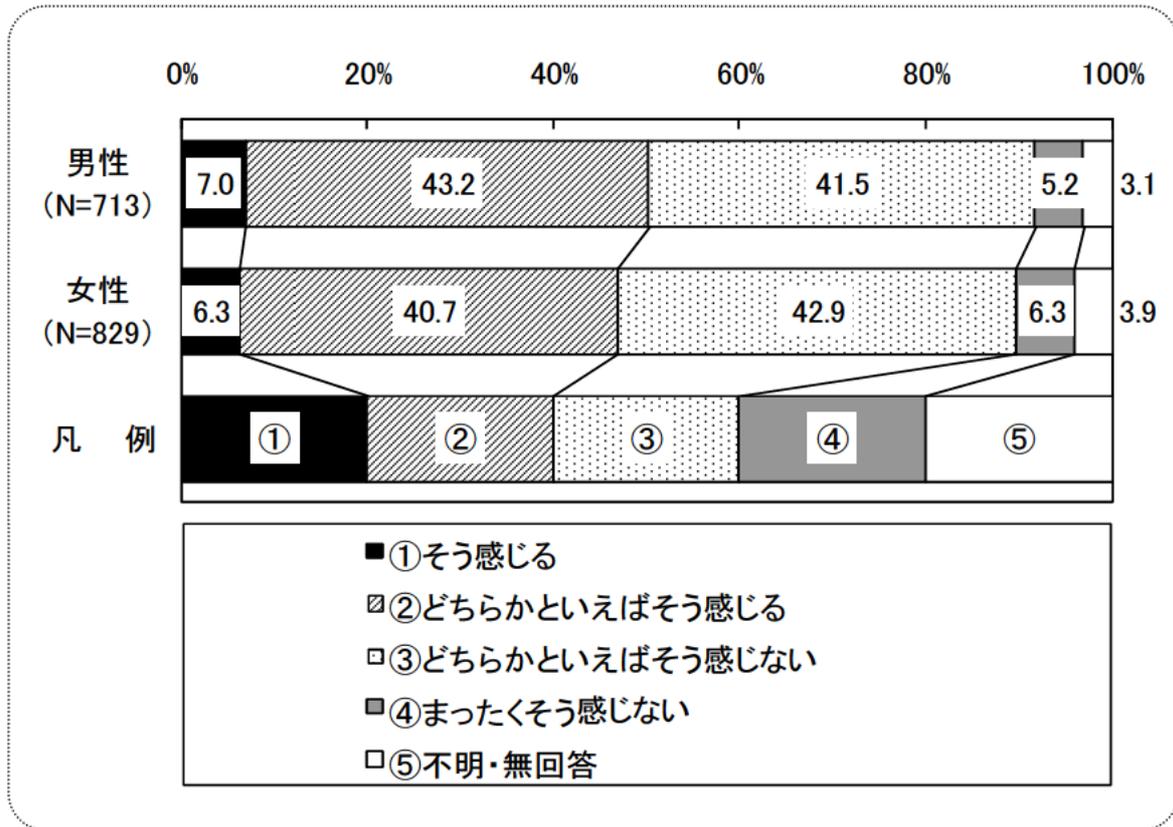
問9 日頃、あなたが使用している様々な製品は、だれもが使いやすくなっていると感じますか。(単数回答)

この設問についてみると、「③どちらかといえばそう感じない」の割合が最も多く42.1%、次いで「②どちらかといえばそう感じる」の割合が41.7%となっています。



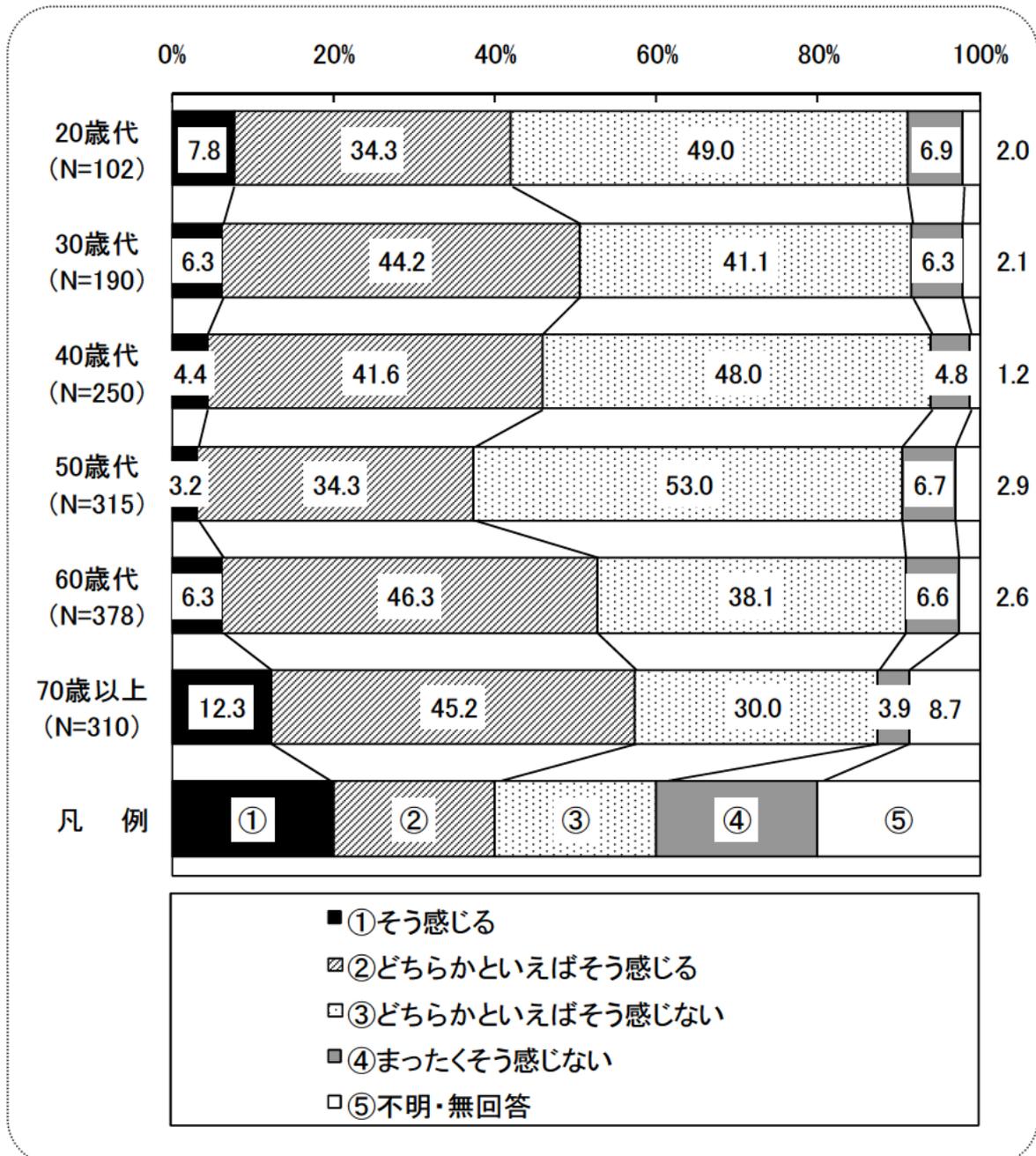
性別

性別についてみると、「①そう感じる」と「②どちらかといえばそう感じる」を合わせた人の割合は、男性では50.2%、女性では47.0%となっています。



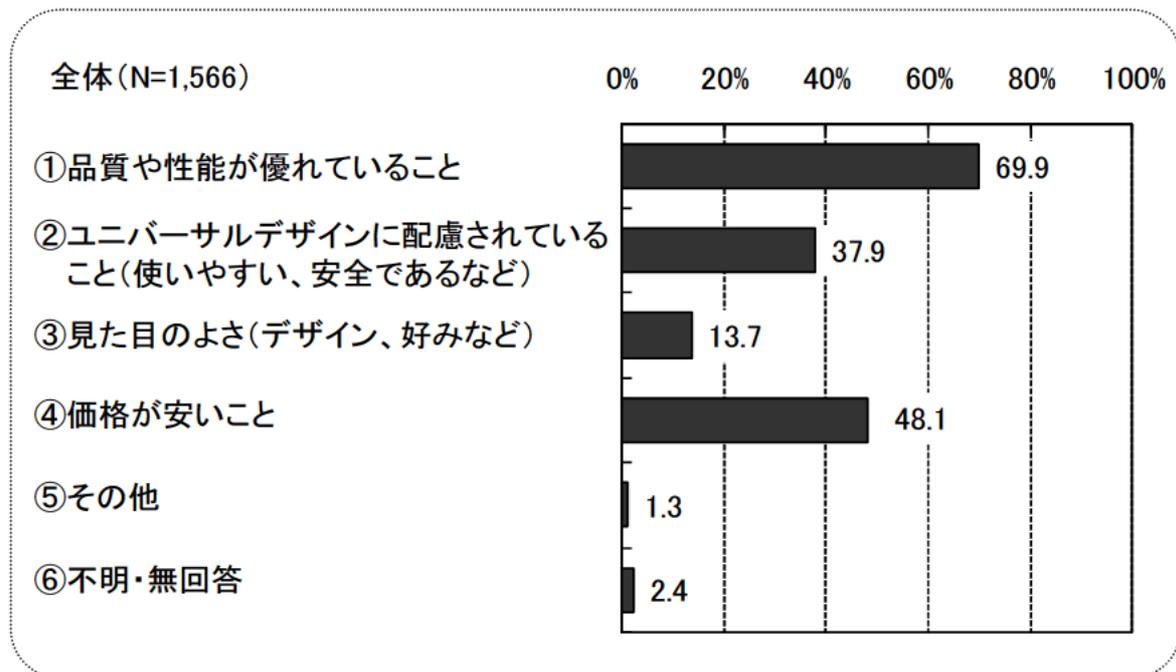
年齢別

年齢別についてみると、「①そう感じる」と「②どちらかといえばそう感じる」を合わせた人の割合は、70歳以上が57.5%と最も多く、次いで多い割合として、30歳代、60歳代で5割以上となっています。一方、50歳代は37.5%と最も少なくなっています。



問10 日頃、あなたが使用する様々な製品を買う際、最も重視すること
は何ですか。(複数回答〈2つまで〉)

この設問についてみると、「①品質や性能が優れていること」の割合が最も多く
69.9%、次いで「④価格が安いこと」の割合が48.1%となっています。



性別

性別でも、男女ともに「品質や性能が優れていること」の割合が最も多くなっています。次いで、「価格が安いこと」が多くなっています。

上段:件数 下段:%	品質や性能が優れていること	ユニバーサルデザインに配慮されていること	見た目のよさ	価格が安いこと	その他	不明・無回答
男性 (N=713)	516 72.4	235 33.0	98 13.7	354 49.6	11 1.5	12 1.7
女性 (N=829)	572 69.0	354 42.7	118 14.2	391 47.2	9 1.1	17 2.1

年齢別

年齢別でも、すべての年齢で「品質や性能が優れていること」の割合が最も多くなっています。次いで多い割合として、20～50歳代では「価格が安いこと」、60歳代、70歳以上では「ユニバーサルデザインに配慮されていること」となっています。

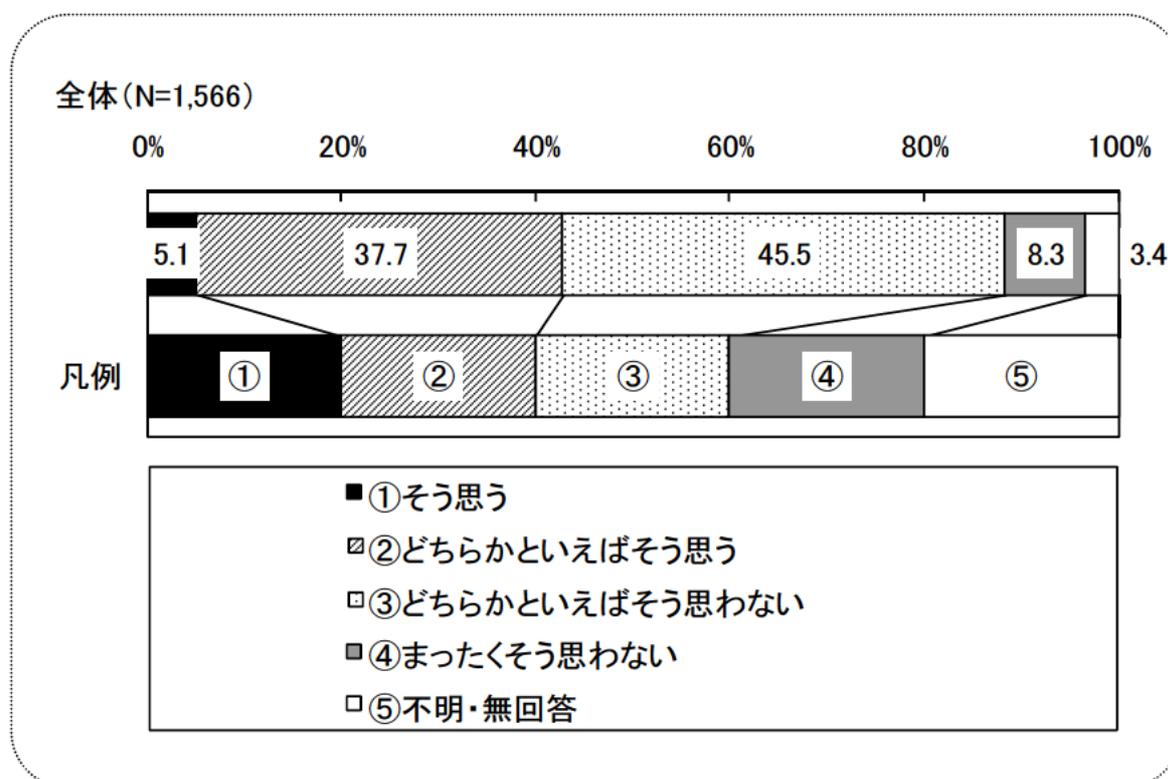
上段:件数 下段:%	品質や性能が優れていること	ユニバーサルデザインに配慮されていること	見た目のよさ	価格が安いこと	その他	不明・無回答
20歳代 (N=102)	72 70.6	17 16.7	25 24.5	60 58.8	0 0.0	1 1.0
30歳代 (N=190)	138 72.6	50 26.3	52 27.4	95 50.0	4 2.1	3 1.6
40歳代 (N=250)	192 76.8	79 31.6	39 15.6	132 52.8	4 1.6	1 0.4
50歳代 (N=315)	232 73.7	122 38.7	33 10.5	154 48.9	5 1.6	5 1.6
60歳代 (N=378)	258 68.3	174 46.0	34 9.0	168 44.4	3 0.8	8 2.1
70歳以上 (N=310)	193 62.3	145 46.8	31 10.0	132 42.6	4 1.3	17 5.5

6

サービス・情報に関するユニバーサルデザインについて

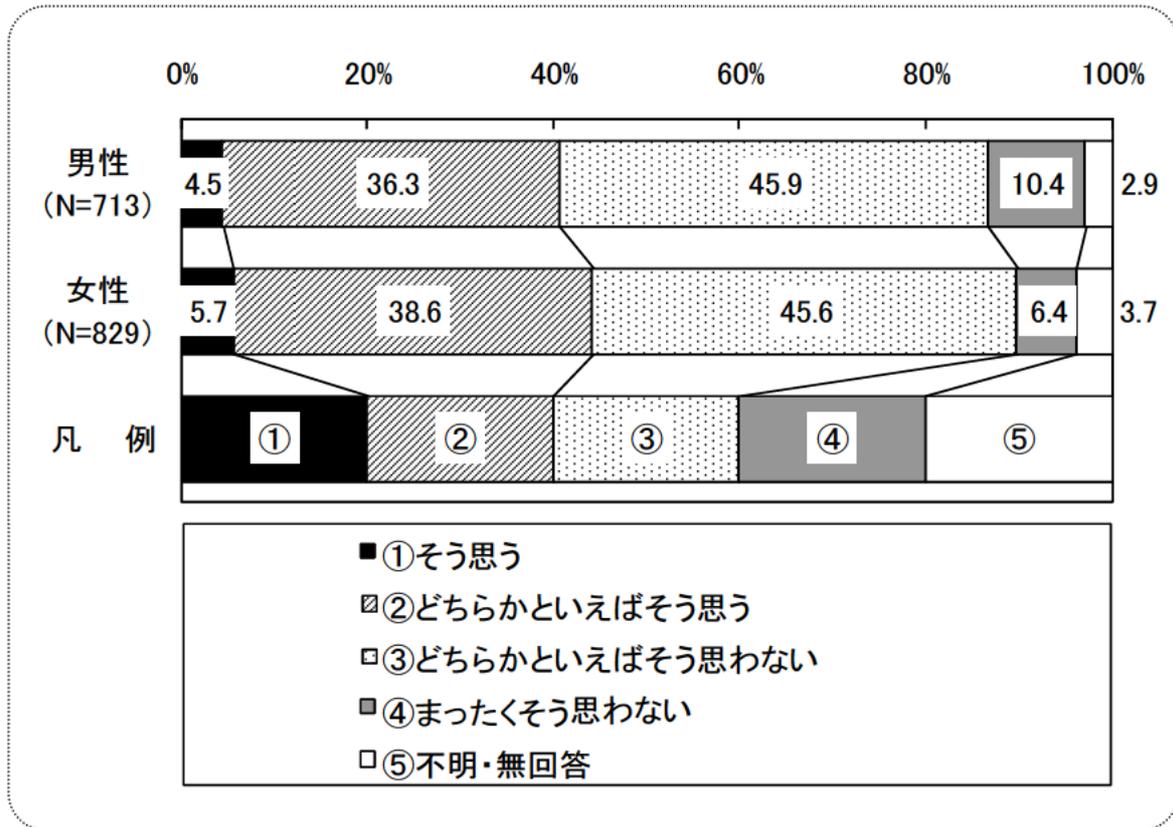
問 11 スポーツ・コンサート・展示会などのイベントは、ユニバーサルデザインの考え方に立って、だれもが楽しめるものになっていると思いますか。(単数回答)

この設問についてみると、「③どちらかといえばそう思わない」の割合が最も多く45.5%、次いで「②どちらかといえばそう思う」の割合が37.7%となっています。



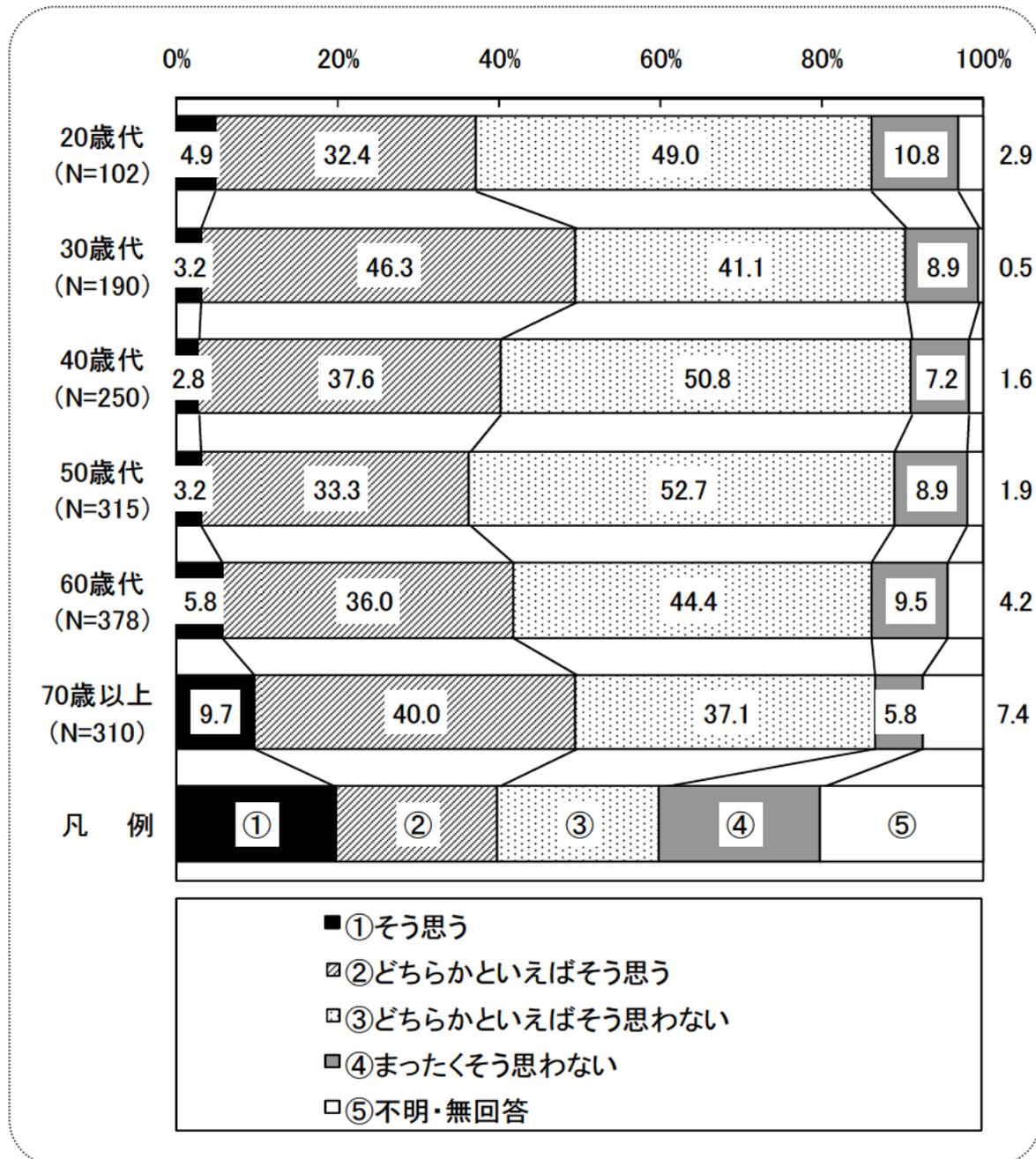
性別

性別についてみると、「①そう思う」と「②どちらかといえばそう思う」を合わせた人の割合は、男性では40.8%、女性では44.3%となっています。



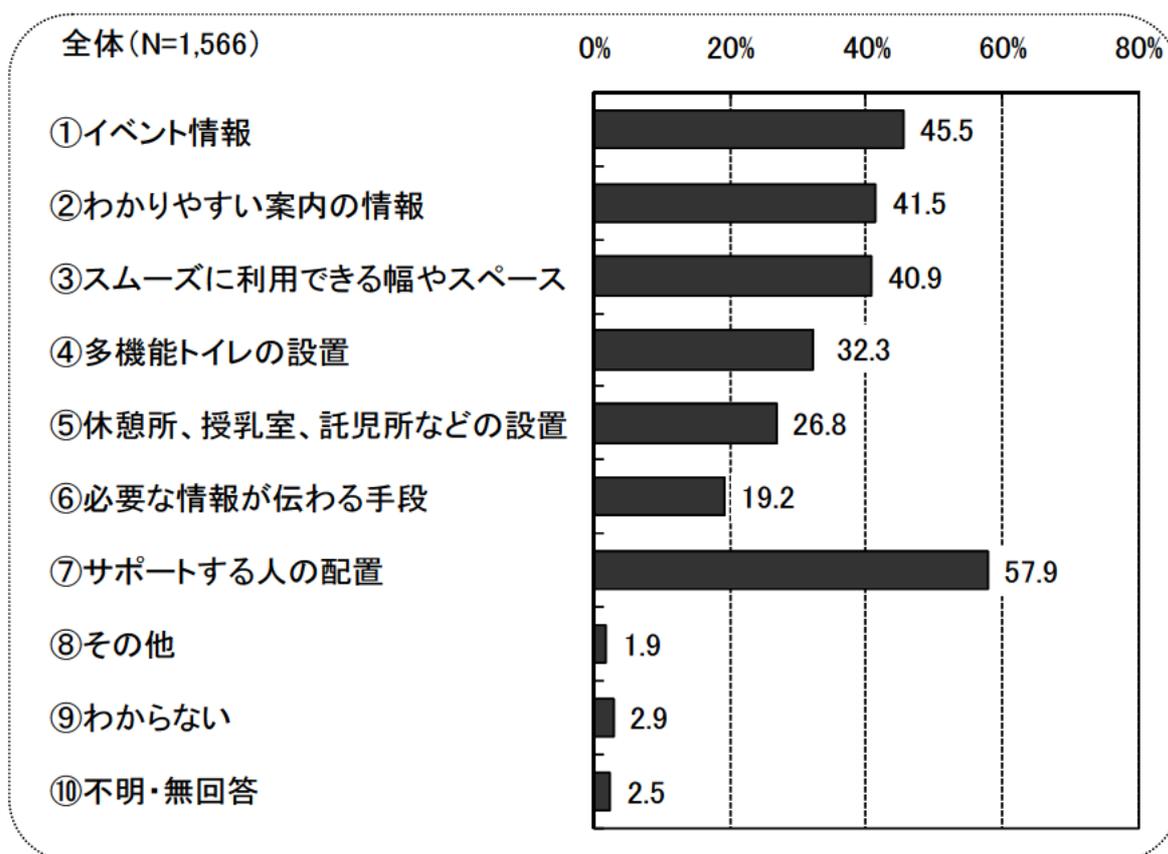
年齢別

年齢別についてみると、「①そう思う」と「②どちらかといえばそう思う」を合わせた人の割合は、70歳以上で49.7%、30歳代で49.5%と多くなっています。一方、50歳代は36.5%と最も少なくなっています。



問 12 だれもがイベントを楽しむことができるために、特に何が大切と思いますか。(複数回答〈3つまで〉)

この設問についてみると、「⑦障がいのある人や高齢者など、困っている人をサポート（支援）する人が配置されている」の割合が最も多く57.9%、次いで「①いつ、どこで、こういった内容で開催されるかなど、イベントの情報がわかりやすく伝えられている」の割合が45.5%となっています。



- ①イベント情報：いつ、どこで、こういった内容で開催されるかなど、イベントの情報がわかりやすく伝えられている
- ②わかりやすい案内の情報：公共交通機関から会場内までの交通手段などがわかりやすく案内されている
- ③スムーズに利用できる幅やスペース：通路に段差なく、スムーズに利用できる幅やスペースがある
- ④多機能トイレの設置：多機能トイレがある
- ⑤休憩所、授乳室、託児所などの設置：休憩所、授乳室、託児所などが設けられている
- ⑥必要な情報が伝わる手段：耳や目の不自由な人に必要な情報が伝わる手段がある（手話通訳など）
- ⑦サポートする人の配置：障がいのある人や高齢者など、困っている人をサポート（支援）する人が配置されている

性別

性別でも、男女ともに「障がいのある人や高齢者など、困っている人をサポート（支援）する人が配置されている」の割合が最も多く、男性では56.2%、女性では60.6%となっています。

上段:件数 下段:%	イベント情報	わかりやすい案内の情報	スムーズに利用できる幅やスペース	多機能トイレの設置	休憩所、授乳室、託児所などの設置
男性 (N=713)	346 48.5	305 42.8	298 41.8	229 32.1	174 24.4
女性 (N=829)	359 43.3	338 40.8	333 40.2	276 33.3	243 29.3

上段:件数 下段:%	必要な情報が伝わる手段	サポートする人の配置	その他	わからない	不明・無回答
男性 (N=713)	138 19.4	401 56.2	14 2.0	18 2.5	16 2.2
女性 (N=829)	161 19.4	502 60.6	15 1.8	27 3.3	16 1.9

年齢別

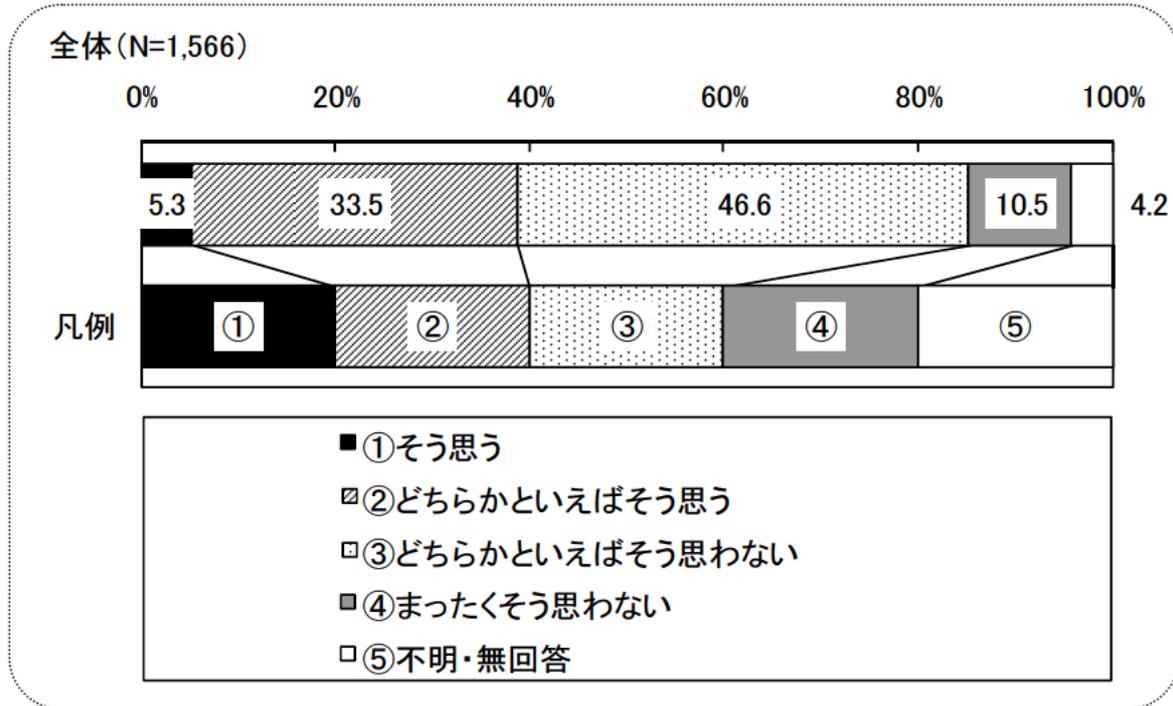
年齢別についてみると、20歳代では「公共交通機関から会場内までの交通手段などがわかりやすく案内されている」の割合が、30～60歳代では「障がいのある人や高齢者など、困っている人をサポート（支援）する人が配置されている」の割合が、また70歳以上では「いつ、どこで、どういった内容で開催されるかなど、イベントの情報がわかりやすく伝えられている」の割合が最も多くなっています。

上段:件数 下段:%	イベント情報	わかりやすい案内の情報	スムーズに利用できる幅やスペース	多機能トイレの設置	休憩所、授乳室、託児所などの設置
20歳代 (N=102)	40 39.2	47 46.1	39 38.2	35 34.3	44 43.1
30歳代 (N=190)	66 34.7	71 37.4	87 45.8	69 36.3	85 44.7
40歳代 (N=250)	102 40.8	85 34.0	122 48.8	81 32.4	66 26.4
50歳代 (N=315)	141 44.8	137 43.5	142 45.1	96 30.5	86 27.3
60歳代 (N=378)	198 52.4	163 43.1	135 35.7	124 32.8	93 24.6
70歳以上 (N=310)	156 50.3	139 44.8	104 33.5	97 31.3	41 13.2

上段:件数 下段:%	必要な情報 が伝わる手段	サポートす る人の配置	その他	わからない	不明・無回 答
20歳代 (N=102)	25 24.5	46 45.1	3 2.9	0 0.0	2 2.0
30歳代 (N=190)	43 22.6	114 60.0	6 3.2	0 0.0	1 0.5
40歳代 (N=250)	60 24.0	178 71.2	5 2.0	1 0.4	1 0.4
50歳代 (N=315)	73 23.2	201 63.8	4 1.3	3 1.0	6 1.9
60歳代 (N=378)	52 13.8	219 57.9	7 1.9	18 4.8	7 1.9
70歳以上 (N=310)	44 14.2	142 45.8	4 1.3	24 7.7	19 6.1

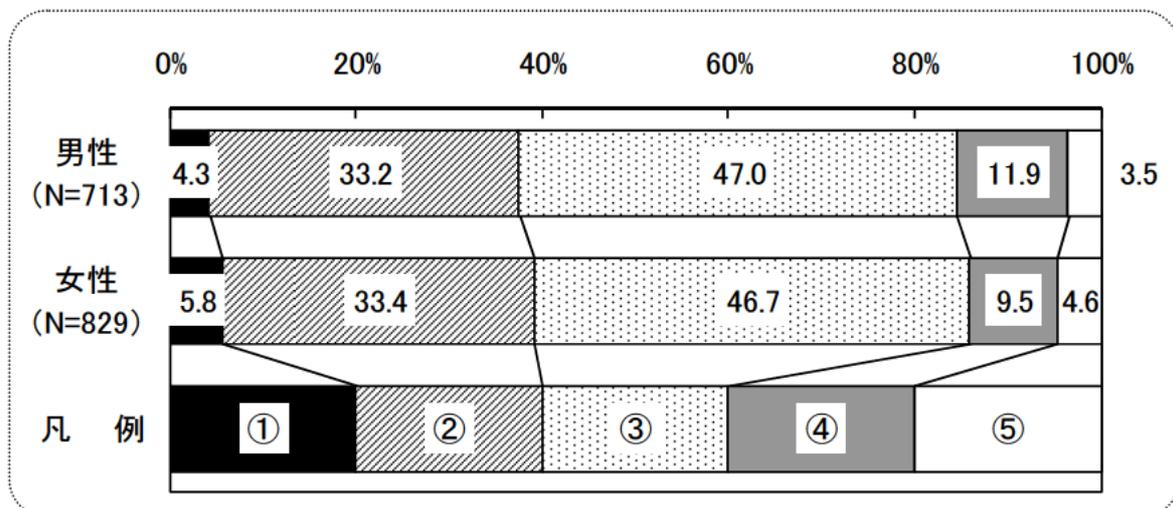
問 13 本・雑誌・広報誌・インターネットなどは、ユニバーサルデザインの考え方に立って、だれもが簡単に情報を得ることができるようになっていると思いますか。(単数回答)

この設問についてみると、「③どちらかといえばそう思わない」の割合が最も多く46.6%、次いで「②どちらかといえばそう思う」の割合が33.5%となっています。



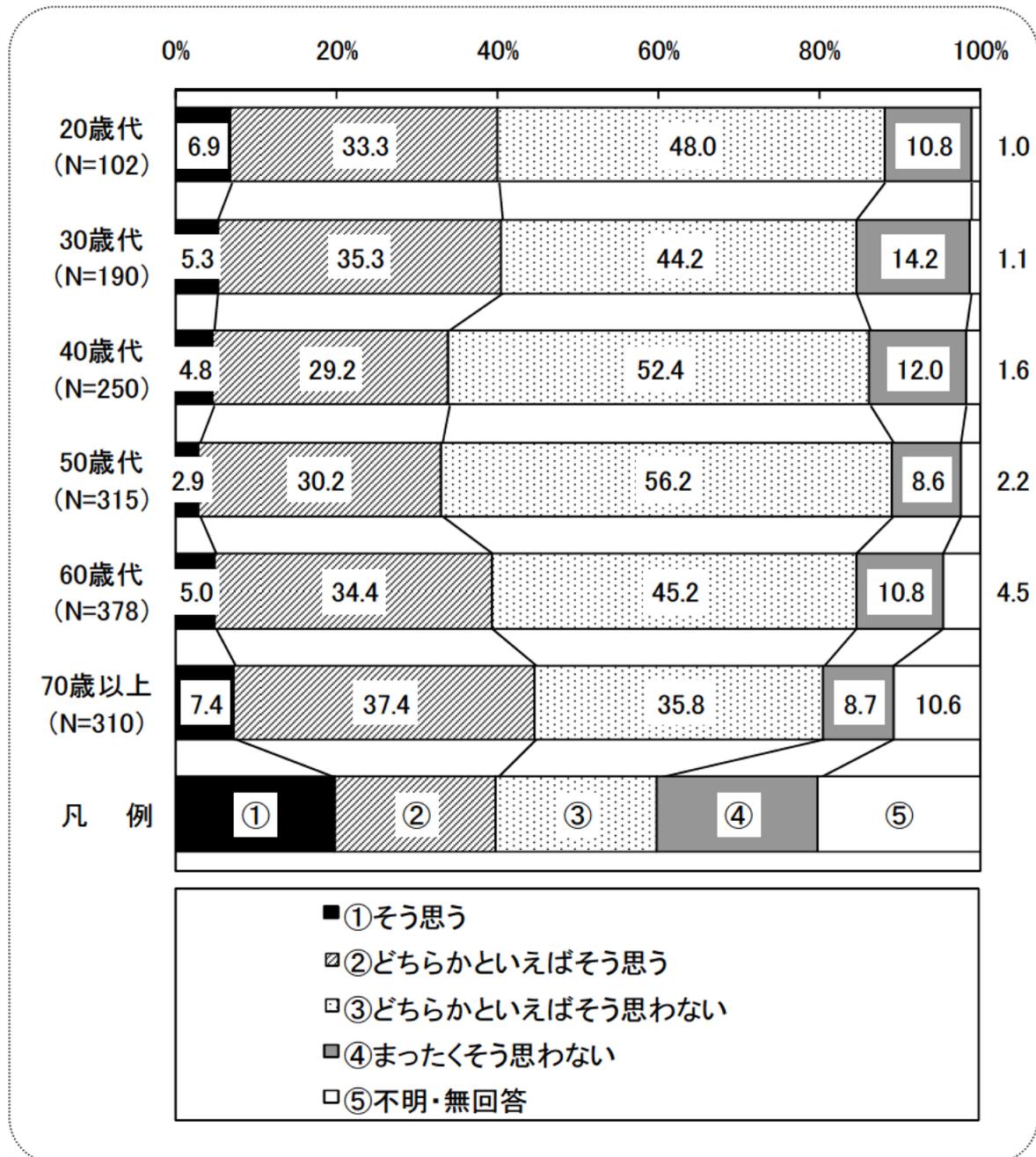
性別

性別についてみると、「①そう思う」と「②どちらかといえばそう思う」を合わせた人の割合は、男性が37.5%、女性が39.2%となっています。



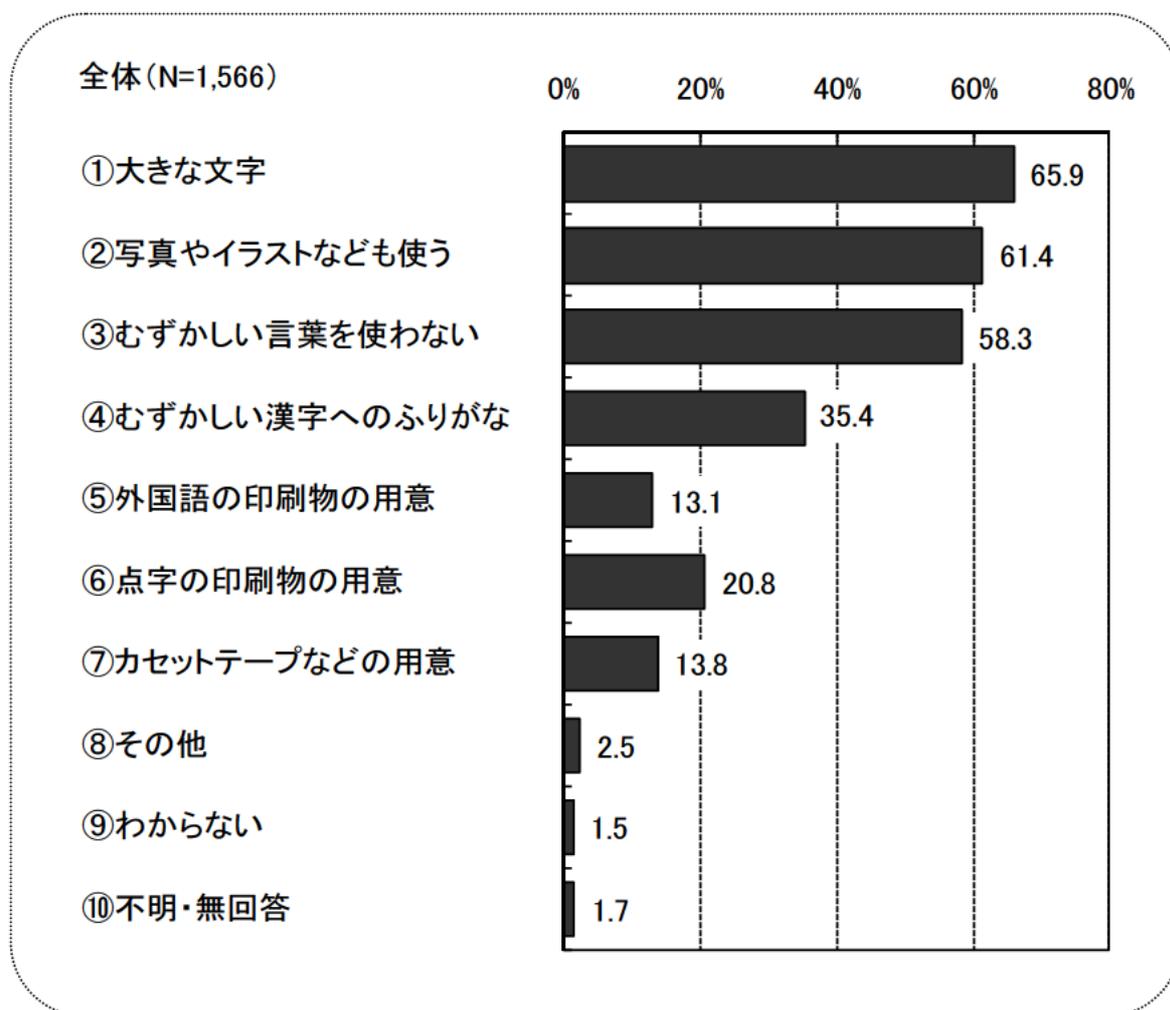
年齢別

年齢別についてみると、「①そう思う」と「②どちらかといえばそう思う」を合わせた人の割合は、70歳以上が44.8%と最も多くなっています。一方、50歳代では33.1%、40歳代では34.0%と少なくなっています。



問 14 本・雑誌・広報誌などを、だれもがわかりやすいものにするために、特に何が大切と思いますか。(複数回答〈3つまで〉)

この設問についてみると、「①文字を大きくする(読みやすくする)」の割合が最も多く 65.9%、次いで「②文字だけでなく、写真やイラストなども使う」の割合が 61.4%となっています。



- ①大きな文字: 文字を大きくする(読みやすくする)
- ②写真やイラストなども使う: 文字だけでなく、写真やイラストなども使う
- ③むずかしい言葉を使わない: むずかしい言葉をできるだけ使わない
- ④むずかしい漢字へのふりがな: むずかしい漢字には、ふりがなをつける
- ⑤外国語の印刷物の用意: 英語など外国語の印刷物も用意する
- ⑥点字の印刷物の用意: 点字で作成した印刷物も用意する
- ⑦カセットテープなどの用意: 内容を聞けるカセットテープなどを用意する

性別

性別についてみると、男性では「文字だけでなく、写真やイラストなども使う」の割合が64.4%、女性では「文字を大きくする(読みやすくする)」が68.9%と最も多くなっています。

上段:件数 下段:%	大きな文字	写真やイラストなども使う	むずかしい言葉を使わない	むずかしい漢字へのふりがな	外国語の印刷物の用意
男性 (N=713)	446 62.6	459 64.4	430 60.3	272 38.1	88 12.3
女性 (N=829)	571 68.9	498 60.1	472 56.9	275 33.2	118 14.2

上段:件数 下段:%	点字の印刷物の用意	カセットテープなどの用意	その他	わからない	不明・無回答
男性 (N=713)	152 21.3	98 13.7	18 2.5	8 1.1	9 1.3
女性 (N=829)	173 20.9	119 14.4	21 2.5	15 1.8	11 1.3

年 齢 別

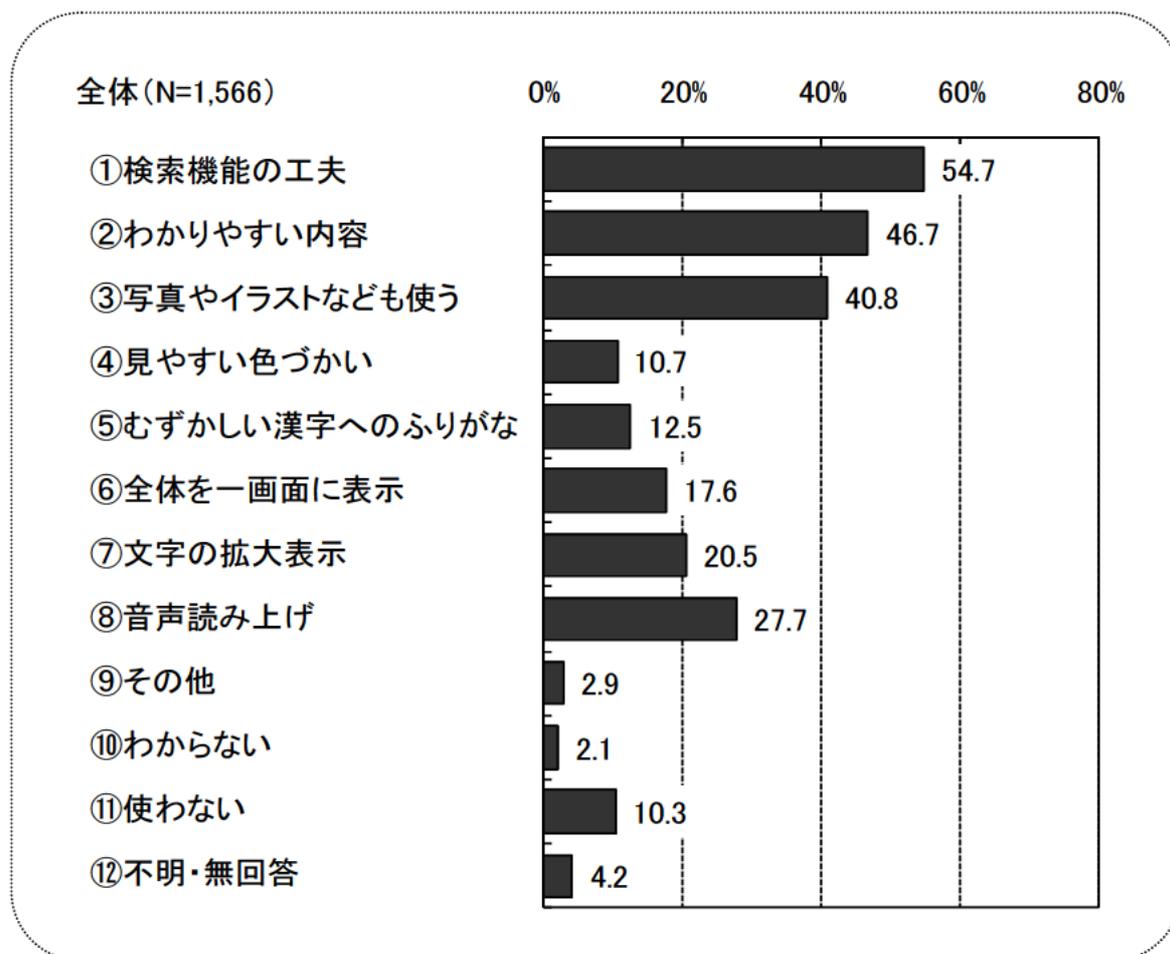
年齢別についてみると、20～50歳代では「文字だけでなく、写真やイラストなども使う」、60歳代、70歳以上では「文字を大きくする（読みやすくする）」の割合が最も多くなっています。

上段:件数 下段:%	大きな文字	写真やイラストなども使う	むずかしい言葉を使わない	むずかしい漢字へのふりがな	外国語の印刷物の用意
20歳代 (N=102)	60 58.8	72 70.6	44 43.1	29 28.4	16 15.7
30歳代 (N=190)	99 52.1	145 76.3	103 54.2	63 33.2	36 18.9
40歳代 (N=250)	145 58.0	161 64.4	127 50.8	70 28.0	41 16.4
50歳代 (N=315)	202 64.1	208 66.0	167 53.0	102 32.4	52 16.5
60歳代 (N=378)	272 72.0	231 61.1	230 60.8	147 38.9	45 11.9
70歳以上 (N=310)	237 76.5	137 44.2	229 73.9	133 42.9	13 4.2

上段:件数 下段:%	点字の印刷 物の用意	カセット テープなどの 用意	その他	わからない	不明・無回 答
20歳代 (N=102)	30 29.4	17 16.7	2 2.0	1 1.0	2 2.0
30歳代 (N=190)	58 30.5	22 11.6	6 3.2	0 0.0	1 0.5
40歳代 (N=250)	69 27.6	46 18.4	8 3.2	3 1.2	1 0.4
50歳代 (N=315)	71 22.5	65 20.6	6 1.9	3 1.0	6 1.9
60歳代 (N=378)	59 15.6	40 10.6	7 1.9	10 2.6	5 1.3
70歳以上 (N=310)	34 11.0	25 8.1	10 3.2	6 1.9	11 3.5

問 15 インターネットを使って、ホームページなどからだれもが情報を得やすくするために、特に何が大切と思いますか。(複数回答く3つまで)

この設問についてみると、「①必要な情報をすぐに見つけられるよう検索機能を工夫する」の割合が最も多く 54.7%、次いで「②内容をわかりやすくまとめる」の割合が 46.7%となっています。



- ①検索機能の工夫: 必要な情報をすぐに見つけられるよう検索機能を工夫する
- ②わかりやすい内容: 内容をわかりやすくまとめる
- ③写真やイラストなども使う: 文字だけでなく、写真やイラストなども使う
- ④見やすい色づかい: 見やすい色づかいにする
- ⑤むずかしい漢字へのふりがな: むずかしい漢字には、ふりがなをつける
- ⑥全体を一画面に表示: スクロール(画面を上下左右に動かすこと)しなくてもよいよう全体を一画面に表示する
- ⑦文字の拡大表示: 文字を拡大表示できるようにする
- ⑧音声読み上げ: 音声で読み上げることができるようにする

性別

性別でも、男女ともに「必要な情報をすぐに見つけられるよう検索機能を工夫する」の割合が最も多く、男性では56.7%、女性では53.6%となっています。

上段:件数 下段:%	検索機能 の工夫	わかりや すい内容	写真やイ ラストなど も使う	見やすい 色づかい	むずかし い漢字への ふりがな	全体を一 画面に表示
男性 (N=713)	404 56.7	336 47.1	322 45.2	73 10.2	95 13.3	136 19.1
女性 (N=829)	444 53.6	392 47.3	313 37.8	90 10.9	99 11.9	137 16.5

上段:件数 下段:%	文字の拡 大表示	音声読み 上げ	その他	わからな い	使わない	不明・無 回答
男性 (N=713)	138 19.4	188 26.4	22 3.1	12 1.7	65 9.1	27 3.8
女性 (N=829)	183 22.1	243 29.3	23 2.8	21 2.5	94 11.3	29 3.5

年 齢 別

年齢別についてみると、20～60歳代では「必要な情報をすぐに見つけられるよう検索機能を工夫する」、70歳以上では「内容をわかりやすくまとめる」の割合が最も多くなっています。

上段:件数 下段:%	検索機能 の工夫	わかりや すい内容	写真やイ ラストなど も使う	見やすい 色づかい	むずかし い漢字への ふりがな	全体を一 画面に表示
20歳代 (N=102)	60 58.8	58 56.9	42 41.2	14 13.7	13 12.7	19 18.6
30歳代 (N=190)	128 67.4	105 55.3	106 55.8	26 13.7	20 10.5	34 17.9
40歳代 (N=250)	162 64.8	125 50.0	125 50.0	20 8.0	20 8.0	57 22.8
50歳代 (N=315)	214 67.9	159 50.5	121 38.4	38 12.1	24 7.6	61 19.4
60歳代 (N=378)	191 50.5	160 42.3	158 41.8	30 7.9	54 14.3	71 18.8
70歳以上 (N=310)	92 29.7	116 37.4	81 26.1	34 11.0	62 20.0	30 9.7

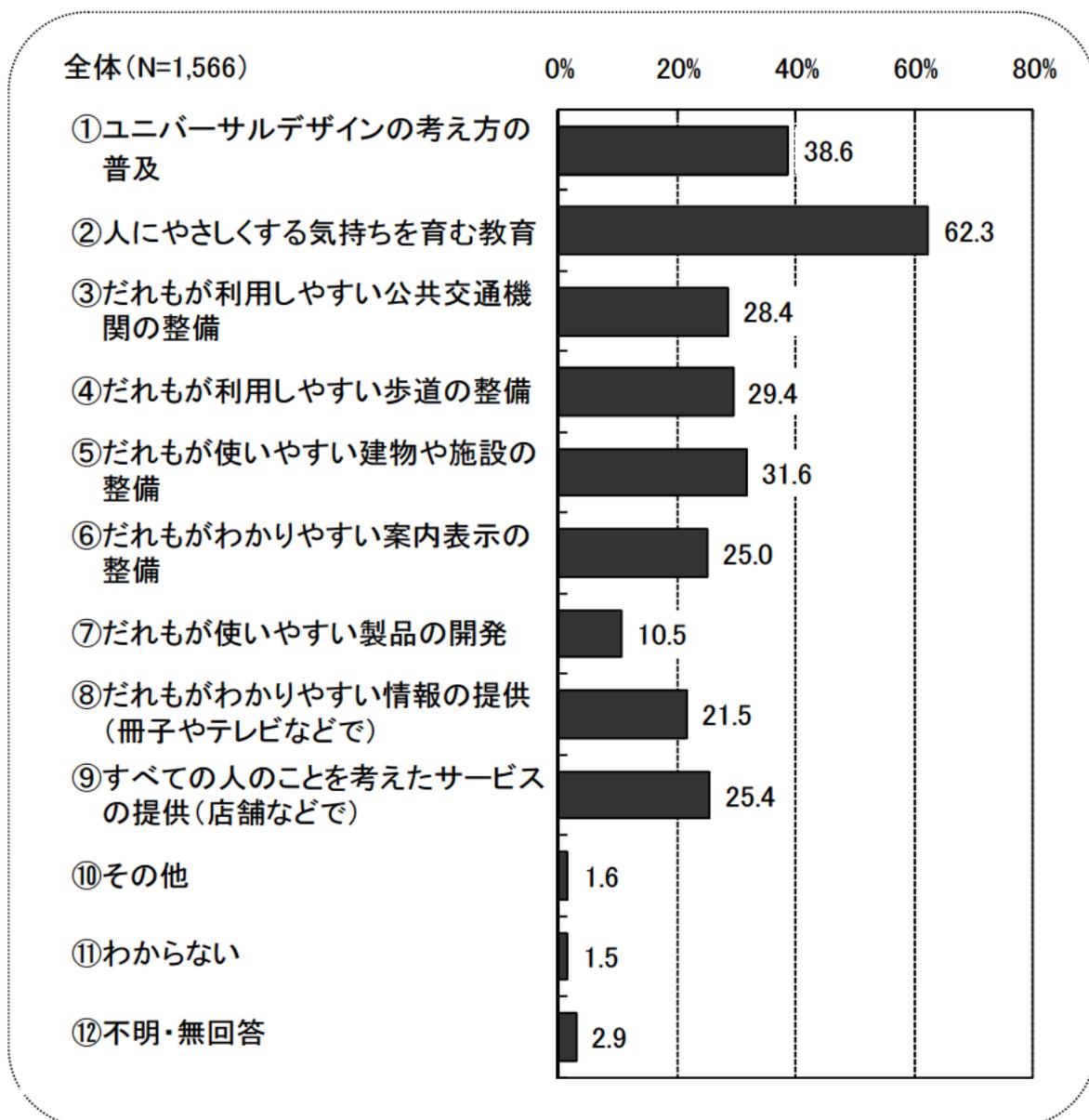
上段:件数 下段:%	文字の拡大表示	音声読み上げ	その他	わからない	使わない	不明・無回答
20歳代 (N=102)	33 32.4	34 33.3	3 2.9	2 2.0	1 1.0	2 2.0
30歳代 (N=190)	33 17.4	64 33.7	12 6.3	0 0.0	4 2.1	0 0.0
40歳代 (N=250)	49 19.6	86 34.4	11 4.4	3 1.2	7 2.8	3 1.2
50歳代 (N=315)	76 24.1	113 35.9	6 1.9	7 2.2	12 3.8	7 2.2
60歳代 (N=378)	68 18.0	92 24.3	8 2.1	8 2.1	64 16.9	15 4.0
70歳以上 (N=310)	58 18.7	40 12.9	5 1.6	13 4.2	72 23.2	35 11.3

7

ユニバーサルデザインについての考え方

問 16 ユニバーサルデザインのまちづくりを進めていくうえで、あなたが、特に大切と思うことは何ですか。(複数回答く3つまで)

この設問についてみると、「②人にやさしくする気持ちを育む教育」の割合が最も多く 62.3%、次いで「①ユニバーサルデザインの考え方の普及」の割合が 38.6% となっています。



性別

性別でも、男女ともに「人にやさしくする気持ちを育む教育」の割合が最も多く、男性では64.7%、女性では60.3%となっています。

上段:件数 下段:%	ユニバーサルデザインの考え方の普及	人にやさしくする気持ちを育む教育	だれもが利用しやすい公共交通機関の整備	だれもが利用しやすい歩道の整備	だれもが使いやすい建物や施設の整備	だれもがわかりやすい案内表示の整備
男性 (N=713)	278 39.0	461 64.7	193 27.1	210 29.5	205 28.8	174 24.4
女性 (N=829)	326 39.3	500 60.3	245 29.6	241 29.1	282 34.0	211 25.5

上段:件数 下段:%	だれもが使いやすい製品の開発	だれもがわかりやすい情報の提供	すべての人のことを考えたサービスの提供	その他	わからない	不明・無回答
男性 (N=713)	75 10.5	182 25.5	155 21.7	12 1.7	10 1.4	22 3.1
女性 (N=829)	88 10.6	155 18.7	238 28.7	13 1.6	13 1.6	18 2.2

年 齢 別

年齢別でも、すべての年齢で「人にやさしくする気持ちを育む教育」の割合が最も多くなっています。

上段:件数 下段:%	ユニバーサルデザインの考え方の普及	人にやさしくする気持ちを育む教育	だれもが利用しやすい公共交通機関の整備	だれもが利用しやすい歩道の整備	だれもが使いやすい建物や施設の整備	だれもがわかりやすい案内表示の整備
20歳代 (N=102)	49 48.0	58 56.9	28 27.5	20 19.6	35 34.3	23 22.5
30歳代 (N=190)	69 36.3	128 67.4	61 32.1	65 34.2	63 33.2	44 23.2
40歳代 (N=250)	113 45.2	151 60.4	69 27.6	84 33.6	64 25.6	35 14.0
50歳代 (N=315)	137 43.5	201 63.8	90 28.6	89 28.3	106 33.7	67 21.3
60歳代 (N=378)	143 37.8	241 63.8	83 22.0	105 27.8	123 32.5	125 33.1
70歳以上 (N=310)	91 29.4	182 58.7	106 34.2	88 28.4	97 31.3	92 29.7

上段:件数 下段:%	だれもが 使いやすい 製品の開発	だれもが わかりやす い情報の提 供	すべての 人のことを 考えたサー ビスの提供	その他	わからな い	不明・無 回答
20歳代 (N=102)	13 12.7	23 22.5	35 34.3	2 2.0	0 0.0	1 1.0
30歳代 (N=190)	23 12.1	32 16.8	55 28.9	7 3.7	1 0.5	0 0.0
40歳代 (N=250)	31 12.4	55 22.0	79 31.6	5 2.0	3 1.2	5 2.0
50歳代 (N=315)	34 10.8	77 24.4	82 26.0	6 1.9	2 0.6	4 1.3
60歳代 (N=378)	35 9.3	93 24.6	91 24.1	3 0.8	6 1.6	9 2.4
70歳以上 (N=310)	26 8.4	57 18.4	52 16.8	2 0.6	11 3.5	24 7.7

自由記述については、いただいた意見のうち主なものを取りまとめて記載しています。

公共交通機関について

- ・ 駅にエレベーターやエスカレーターを設置してほしい
- ・ 駅のエスカレーターは両方向(上り方向と下り方向)に設置してほしい
- ・ 駅のエレベーターは利用者のことを考えた場所に設置してほしい
- ・ 小さな駅にもスロープを設置してほしい
- ・ 駅の改札口も車いすが通れるとよい
- ・ 駅構内の電光掲示板を増やしてほしい
- ・ 行きたいところの表示ボタンを押せば、点滅して教えてくれる案内板があれば助かると思う
- ・ ノンステップバスの普及率が低い
- ・ 高齢者が移動しやすい社会整備や設備の拡充が大切である
- ・ より便利な交通システムの開発に期待する
- ・ 車いすを必要とする人の移動に対するサポートが大切と思う
- ・ 障がいがある人も不便さを感じることなく公共交通機関を利用して外出できるとよい

公共施設、公園について

- ・ 公共施設にはエスカレーターを設置してほしい
- ・ 公共施設の入口に障がい者用のインターホンを設置してほしい
- ・ 公共施設等で困ったとき、対応してくれる窓口(外国人や障がいのある方への支援・援助等)を設けてほしい
- ・ 公共施設のバリアフリー化を進めてほしい
- ・ 障がい者が利用できる公共施設が充実していない
- ・ 新しい建物をつくるばかりでなく、既存の建物を使いやすくすることも大切と思う
- ・ 高齢者も障がい者もだれもが利用できる公園を整備してほしい
- ・ 公園にトイレを設置してほしい
- ・ 公園にベンチを設置してほしい
- ・ 小さくても、誰もがホッとできる公園がほしい

施設全般について

- ・ 車いす使用者用駐車区画が少ない
- ・ 車いす使用者用駐車区画に限らず、妊婦や高齢者、小さい子ども連れの家族が駐車できる駐車区画を多く設ける
- ・ 車いす使用者用駐車区画は出入口に近い場所に設置したほうがいい
- ・ 車いす使用者用駐車区画に屋根を設置してほしい
- ・ 駅の駐車場に屋根を設置してほしい
- ・ エレベーターが設置されていない2階建以上の店舗が多いので、エレベーターを設置してほしい
- ・ エレベーターは店舗の中心付近に設置してほしい
- ・ 多機能トイレを設置してほしい
- ・ 多機能トイレのスペースをもっと広くしてほしい
- ・ 多機能トイレが広すぎるため、広さを考慮しながら数を増やしてほしい
- ・ トイレ内の荷物を掛けるフックは、使いやすい高さに付けてほしい
- ・ 男性トイレにも赤ちゃん用のおむつ台を設置してほしい
- ・ 利用しやすいおむつ台を設置してほしい
- ・ トイレの個室にベビーチェアを設置してほしい
- ・ 案内表示の文字を大きくしてほしい
- ・ 案内表示をわかりやすくしてほしい
- ・ 案内表示がマークだけでわかりづらいため、文字も付けてほしい
- ・ 聴覚障がい者に対し、音声案内等を増やしてほしい
- ・ 建物の出入口付近の床は滑りにくいものにしてほしい
- ・ 店舗内の通路は通れるよう幅を広くしてほしい
- ・ レジの隣に子どもを置ける場所がほしい
- ・ 各施設にベビーベッドや乳児室が必要である
- ・ 授乳室を増やしてほしい
- ・ 店舗内には託児所があったほうがよい
- ・ 誰もが購入しやすい自動販売機が必要だと思う
- ・ 店舗にあるカートの荷台を車いすの人が利用しやすい高さにしてほしい
- ・ 高齢者が買い物に行くための手段・サポートをしてほしい
- ・ 便利に利用できる施設は点であり、線としてつなげられる整備に期待している
- ・ 確実なユニバーサルデザイン施設を設置してほしい
- ・ 安全面に配慮したバリアフリーなどの整備が大切である
- ・ 障がいのある人の目線に立ったまちづくりを行ってほしい
- ・ 施設整備にかかる補助金があればよい
- ・ 高齢者が生活しやすい環境を整備してほしい
- ・ 欧米諸国と比べると、日本は“社会的弱者”に対する環境づくりや条件整備が不十分である

普及・教育について

- ・ 人にやさしくする気持ちを育むためには家庭や学校での教育が大切である
- ・ 幼児期から人に親切にする教育が大切である
- ・ 障がい者を特別視しない教育が大切である
- ・ 幼児期から障がい者、高齢者が自然に接する機会をつくるのが大切と思う
- ・ 人に対するやさしさや気持ちなどは道德教育を通じて育んでほしい
- ・ 他人のことを自分の身内のことのように考えられる教育をしてほしい
- ・ ユニバーサルデザインについては、若い世代の意識改革が必要と思う
- ・ ユニバーサルデザインについて、教育現場でも取り組むべきだと感じる
- ・ ユニバーサルデザインについて、啓発活動を積極的にした方がよい
- ・ すべての市町でユニバーサルデザインを浸透させていくべきである
- ・ 人の心を育てることが大切だと思う
- ・ やさしく、思いやりのある人が多くなるのが大切と思う
- ・ 相手の立場になって物事を考えられる人になるのが大切と思う
- ・ 困っている人がいれば、見ず知らずの人でも声をかける勇気や親切心を、みんながもてる社会であってほしい
- ・ 互いに助け合い、すべての人に対してやさしい気持ちや思いやる気持ちをもつことが大切と思う
- ・ ユニバーサルデザインについては、大人にも教育が必要と思う
- ・ 大人の意識が変われば、子どもや地域も変わると思う
- ・ 「おとなの姿」を子どもに示すことで他人を思いやる心が育ち、暮らしやすい社会になると思う
- ・ 人を思いやる心だけでなく、感謝する心も大切だと思う
- ・ 自分が大切にされることで人にやさしくしたり、協力していく心なども育つと思う
- ・ 他人に対する思いやりが欠け、自分のことだけを考える人が多い
- ・ 電車やバス内におけるマナーの悪い人が多い
- ・ 車いす利用者用駐車区画に必要でないと思われる人がよく駐車しているところを見る
- ・ 多機能トイレにおいて利用者のマナーが悪い
- ・ マナーを守るよう周知してほしい
- ・ モラルを勉強できる場を設けてほしい
- ・ モラルを向上してほしい
- ・ 一人ひとりが地域で行われているボランティアやイベント等へ積極的に参加し、サポートする側・される側の立場を理解し合うことが大事である
- ・ 一つの立場で物事を見るのではなく、いろんな立場の人から意見を聞くべきである

製品、情報について

- ・ インターネットで検索する方法をわかりやすく説明してほしい
- ・ 情報が多すぎて、本当に必要な情報かどうかが分からない
- ・ ユニバーサルデザインを取り入れている店舗などを一覧にし、ホームページ等で閲覧できるようにしてほしい
- ・ 身体障がい者が利用できる施設マップがあるとよいと思う
- ・ 広報誌などでは、横文字(外国語)を使用しないでほしい
- ・ 広報誌などは、わかりやすく記載してほしい
- ・ 誰もが利用できる施設の情報を広報等で提供してほしい
- ・ 様々な場面において高齢者が理解できるわかりやすい説明が必要である
- ・ 商品説明の表示の文字を大きくしてほしい
- ・ 聴覚障がい者に対するサービスを考えてほしい

ユニバーサルデザイン全般について

- ・ ユニバーサルデザインを知らない人が多く、まだまだ浸透していないと思う
- ・ ユニバーサルデザインの考えを広めていくことが大切と思う
- ・ 身の周りにあるユニバーサルデザインを活用するには、その意味を知ることが大切と思う
- ・ 都会と地方ではユニバーサルデザインの浸透・普及に差があると思う
- ・ 今回のアンケートで、はじめてユニバーサルデザインという言葉や意味を知った
- ・ 今回のアンケートで、多くのことを知ったり、機能やデザインを気にするようになった
- ・ 今回のアンケートで、よりユニバーサルデザインについて理解することができた
- ・ 普段からユニバーサルデザインについて考えていればと反省することがあった
- ・ ユニバーサルデザインについて気にしたことがないため、よくわからない
- ・ ユニバーサルデザインは身近に感じられない
- ・ 自分がその立場にならなければ、ユニバーサルデザインの考えについてはすぐに理解ができない
- ・ 横文字でユニバーサルデザインと言われても、わかりにくい
- ・ 実施されているユニバーサルデザインを紹介した方がよい
- ・ 行政は企業に対し、ユニバーサルデザインについてのPR活動をするべきである
- ・ ユニバーサルデザインを周知するためにイベント等でコーナーをつくり、知ってもらう必要がある
- ・ ユニバーサルデザインをテレビ等で周知してほしい
- ・ ユニバーサルデザインの意味を誰もが、わかるようにすればよい
- ・ ユニバーサルデザインとは何かを、身近なものから知ってもらうことが大切である
- ・ ユニバーサルデザインという考えを住民が自然にもてれば、特別なことはせずとも反映されると思う

- ・ 「ありがとう」の一言がユニバーサルデザインの考え方の普及に役立つと思う
- ・ ユニバーサルデザインを実感できる施設が増えている
- ・ ユニバーサルデザインを実感できる社会が広がるとよい
- ・ 誰もが自由に使いやすいように工夫することが大切と思う
- ・ 車いす使用者用駐車区画に、必要でないと思われる人が駐車しないようルールが必要である
- ・ 車いす使用者用駐車区画に止める場合の許可証を統一してほしい
- ・ 車いすのステッカーが簡単に入手できないような仕組みが必要である
- ・ ユニバーサルデザインをすべての人が知って理解してもらわない限り、何も変わらないと思う
- ・ ユニバーサルデザインのまちづくりは、将来的にも必要不可欠になると思う
- ・ ユニバーサルデザインは企業の方が先行していると思う
- ・ 人があまり来ないところには、ほとんどユニバーサルデザインの工夫がされていない
- ・ 地域ごとに特色あるユニバーサルデザインの考え方もよいと思う反面、全国的に共通する概念などがないといけなと思う
- ・ ユニバーサルデザインの方向性が明確に示されていない
- ・ 21世紀だけのユニバーサルデザインではなく、未来に残る計画を期待したい
- ・ 意見箱をつくるなど広く意見を取り入れて、ユニバーサルデザインの拡充を図ってほしい
- ・ ユニバーサルデザインを説明しなくても、誰もがやさしさを持てる社会が理想である
- ・ これからの高齢化社会において、ユニバーサルデザインが1日でも早く、広く普及されることを期待する
- ・ ユニバーサルデザインのまちづくりに期待している
- ・ 障がいのある人もない人もともに考えるユニバーサルデザインであってほしい
- ・ それぞれの状況や立場に立ってユニバーサルデザインを形にしてほしい
- ・ ハード面だけでなく、ソフト面にも力を入れてほしい
- ・ 誰もが参加できるイベントを多く実施してほしい

その他

- ・ 住民が自分たちで住みやすくするために考え、行動することが必要である
- ・ 常に暮らしやすくする方法を考え、行政に働きかけていくことが大事だと思う
- ・ 行政と企業でやさしい社会づくりについての意見を出し合い、改善を図ってほしい
- ・ 公共機関の窓口における申請や手続きは、高齢者や外国人に配慮したものにすべきである
- ・ 申請や手続き等は簡素化し、わかりやすくしてほしい
- ・ 障がい者の声が直接届くよう政策を行ってほしい
- ・ 隣近所との助け合いや地域でのふれあいの場を多くした方がよい

Ⅲ 調査票

ユニバーサルデザインに関する意識調査

平成 22 年度県民意識調査 ～あなたのご意見をお聞かせください～

みなさんは、「ユニバーサルデザイン」という言葉をご存じですか？

このたび、「ユニバーサルデザインのまちづくり」を進めていくうえで、県民のみなさんに広くご意見をお聞きし、今後の三重県の取組に反映させるために、アンケート調査を行うことにしました。

この調査は、三重県が株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所三重研究所に委託し、県内の全市町から無作為に抽出した県民 3,000 人の方に、無記名での回答をお願いするものです。いただいた回答は全て統計的に処理し、個々の情報として取り扱うことなく、厳正に管理いたします。調査の目的以外には使用しませんので、みなさまにご迷惑をおかけすることは一切ございません。

お忙しいところお手数をおかけしますが、ご回答のほどよろしくお願いいたします。

平成 22 年 7 月

三重県知事 野呂 昭彦

ご回答に際してのお願い

1. あて名のご本人がご回答いただくようお願いいたします。
2. あてはまる番号を選び、その番号を○印で囲んでください。
3. 「その他」にあてはまる場合は、() 内に具体的にご記入ください。
4. ご記入いただいたアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れ、7月26日(月)までに投函してください。(※切手は不要です)
5. この調査について、ご不明な点などお問い合わせは、下記までお願いいたします。

三重県 健康福祉部 健康福祉総務室 ユニバーサルデザイングループ

〒514-8570 津市広明町 13 番地

電話 059-224-3349 FAX 059-224-2275
E-MAIL ud@pref.mie.jp http://www.pref.mie.jp/ud/hp/

あなたご自身のことについて

問1 (ア) あなたの性別を教えてください。

- | | |
|--------|--------|
| 1 . 男性 | 2 . 女性 |
|--------|--------|

(イ) 現在の、あなたの年齢を教えてください。

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 1 . 20～29 歳 | 2 . 30～39 歳 | 3 . 40～49 歳 |
| 4 . 50～59 歳 | 5 . 60～69 歳 | 6 . 70 歳以上 |

(ウ) あなたの、お住まいの地域を教えてください。
あてはまる箇所の番号に 印をつけてください。

- | |
|----------------------------------|
| 1 . 桑名市、いなべ市、木曽岬町、東員町 |
| 2 . 四日市市、菰野町、朝日町、川越町 |
| 3 . 鈴鹿市、亀山市 |
| 4 . 津市 |
| 5 . 松阪市、多気町、明和町、大台町 |
| 6 . 伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町 |
| 7 . 伊賀市、名張市 |
| 8 . 尾鷲市、紀北町 |
| 9 . 熊野市、御浜町、紀宝町 |

問2 あなたは、ユニバーサルデザインの意味をご存じですか。
次の中から1つ選んで 印をつけてください。

- 1 . よく知っている
- 2 . 知っている
- 3 . 言葉だけは聞いたことがあるが、意味は知らない
- 4 . まったく知らない

「1 . よく知っている」, 「2 . 知っている」と答えた方へ
6ページ以降の質問にお進みください。

「3 . 言葉だけは聞いたことがあるが、意味は知らない」, 「4 . まったく知らない」と答えた方へ
4 ~ 5ページ「ユニバーサルデザインとは？」をご覧いただいた後、6ページ以降の質問にお答えください。

ユニバーサルデザインとは？

*ユニバーサル (universal)

英語で、「全体の、普遍的な」という意味があります。

障がいの有無や年齢、性別などにかかわらず、最初からできるだけ多くの人
が利用できるよう施設や製品、制度などを設計することをいいます。



✿ ユニバーサルデザインの考え方とは？

社会には、障がいのある人やない人、高齢者や子ども、外国の人など、さまざま
な人がいます。ユニバーサルデザインの考え方とは、互いに理解しあい、
まちづくりやものづくり、サービスなど、何かする時には、それを利用するさ
まざまな人の立場に立って考え、行動するということです。



注目！

「ユニバーサルデザインのまちづくり」とは？

障がいのある人や高齢者などにとって暮らしやすいまちは、すべて
の人にとって暮らしやすいまちです。

「ユニバーサルデザインのまちづくり」は、すべての人のためのも
ので、「だれもが使いやすい、利用しやすい、わかりやすい」社会づ
くりをめざしています。



ユニバーサルデザインを取り入れたものって？ 例えばどんなもの？

自動販売機



中央部分にお金の投入口や商品を選択するボタン、商品の取り出し口が集めてあるので、子どもや車いすを利用されている方など、多くの方が利用しやすくなっています。

多機能トイレ



車いす使用者が利用できる十分な広さがあり、また、手すりやベビーシートなどが設けられたトイレをいいます。体の不自由な方ばかりでなく、高齢者、妊産婦や乳幼児を連れた人などにとっても利用しやすいように考えられたトイレです。

ノンステップバス



従来型のバスは、乗降口にステップ（段）がありますが、ノンステップバスにはステップがありません。また、スロープが取り出せるなど、だれもが利用しやすいバスになっています。

ユニバーサルデザインの普及・教育について

ユニバーサルデザインのまちづくりを進めるためには、道や建物などの整備だけでなく、互いに支えあう「ひと」の気持ちや行動も大切です。



問6 日常生活のなかで（家庭、地域、職場など）、ユニバーサルデザインの考え方が浸透していると思いますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. まったくそう思わない |

問7 あなたは、子どもたちに、すべての人に対してやさしくする気持ちが育っていると思いますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. まったくそう思わない |

問8 「まち」で見かける「ひと」の行動で、特に問題があると思うことは何ですか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 点字ブロックの上に自転車や看板などを置いている |
| 2. 歩道を道幅いっぱい広がって歩く |
| 3. ショッピングセンターなどの車いす使用者用駐車区画に、駐車する必要がないと思われる人が駐車している |
| 4. 電車やバスで、高齢者などに席を譲らない |
| 5. 困っている人を見かけても、見て見ぬふりをしている |
| 6. その他 () |
| 7. わからない |

問15 インターネットを使って、ホームページなどからだれもが情報を得やすくするために、特に何が大切と思いますか。次の中から3つまで選んで○印をつけてください。

1. 必要な情報をすぐに見つけられるよう検索(けんさく：調べて探し出すこと)機能を工夫する
2. 内容をわかりやすくまとめる
3. 文字だけでなく、写真やイラストなども使う
4. 見やすい色づかいにする
5. むずかしい漢字には、ふりがなをつける
6. スクロール(画面を上下左右に動かすこと)しなくてもよいよう全体を一画面に表示する
7. 文字を拡大表示できるようにする
8. 音声で読み上げることができるようにする
9. その他 ()
10. わからない
11. 使わない

ユニバーサルデザインについての考え方

「ユニバーサルデザインのまちづくり」は、すべての人のためのもので、「だれもが使いやすい、利用しやすい、わかりやすい」社会づくりをめざしています。



問16 ユニバーサルデザインのまちづくりを進めていくうえで、あなたが、特に大切と思うことは何ですか。次の中から3つまで選んで○印をつけてください。

1. ユニバーサルデザインの考え方の普及
2. 人にやさしくする気持ちを育む教育
3. だれもが利用しやすい公共交通機関の整備(例：駅のエレベーターなど)
4. だれもが利用しやすい歩道の整備(例：幅の広い歩道など)
5. だれもが使いやすい建物や施設の整備(例：階段の手すりなど)
6. だれもがわかりやすい案内表示の整備(例：大きく見やすいなど)
7. だれもが使いやすい製品の開発(例：シャンプー容器の凸凹(デコボコ)など)
8. だれもがわかりやすい情報の提供(冊子やテレビなどで)
9. すべての人のことを考えたサービスの提供(店舗などで)
10. その他 ()
11. わからない

ユニバーサルデザインに関するご意見

問 17 ユニバーサルデザインに関することについて、ご意見等ございましたら、どのようなことでも結構です。ご自由に(できれば具体的に)ご記入ください。

- (例1)暮らしのなかで、だれもが自由に利用できない(できていない)と思うこと
- (例2)だれもが暮らしやすいまちになるために、「もっとこうなるといいのになあ」と思うこと
- (例3)行政に期待すること
- (例4)企業に期待すること など

アンケートは以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

平成 22 年度

ユニバーサルデザインに関する県民意識調査報告書

三重県 健康福祉部 健康福祉総務室

ユニバーサルデザイングループ

〒514 8570

三重県津市広明町 13 番地

電 話 059 - 224 - 3349

ファックス 059 - 224 - 2275
